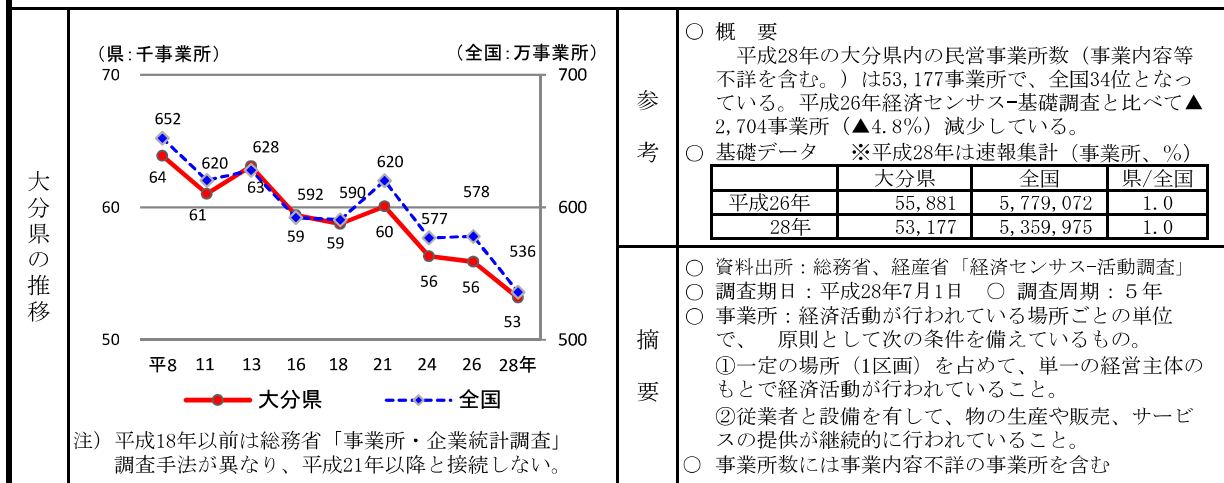
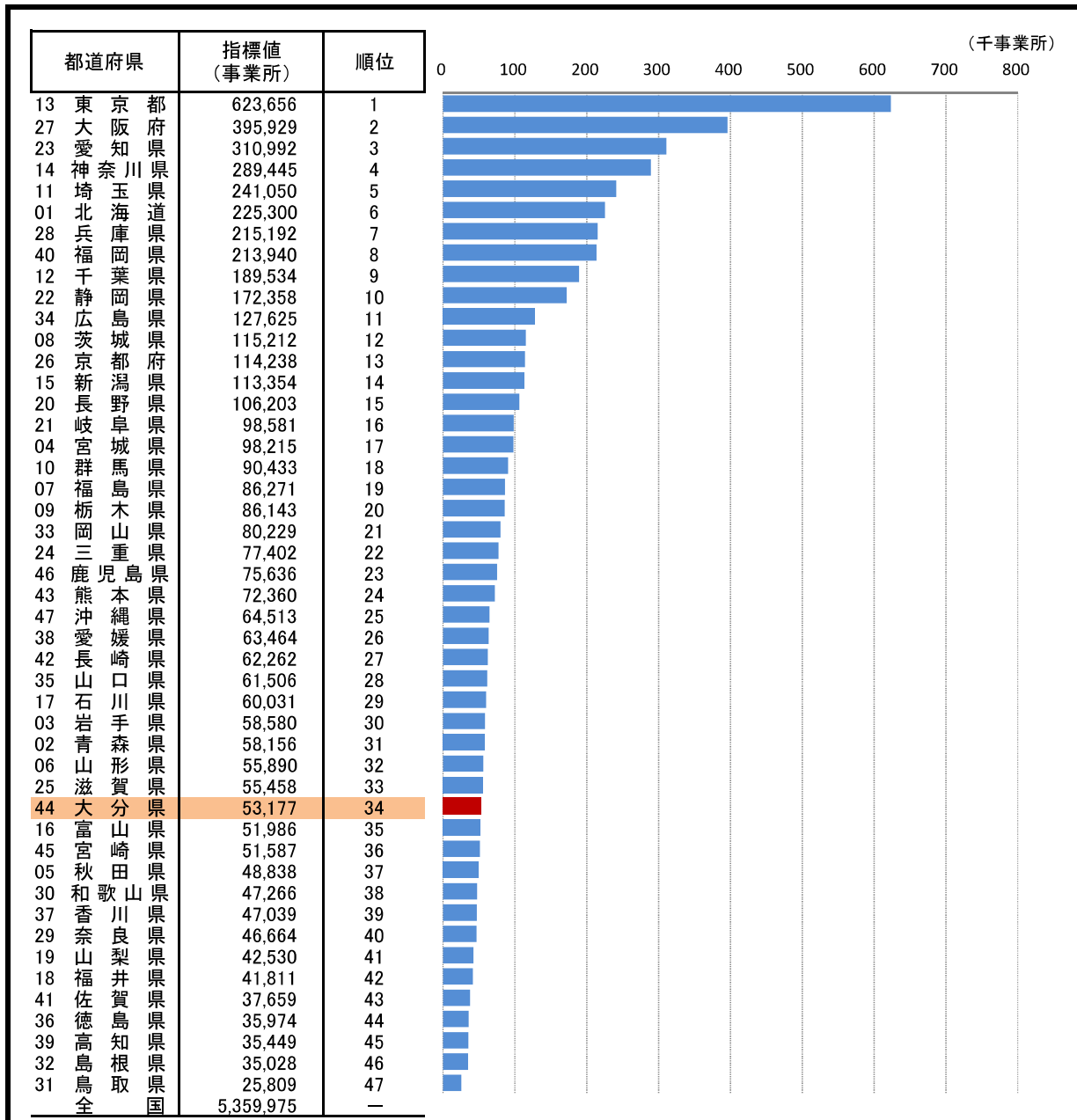


4 産業



25. 事業所数(民営)

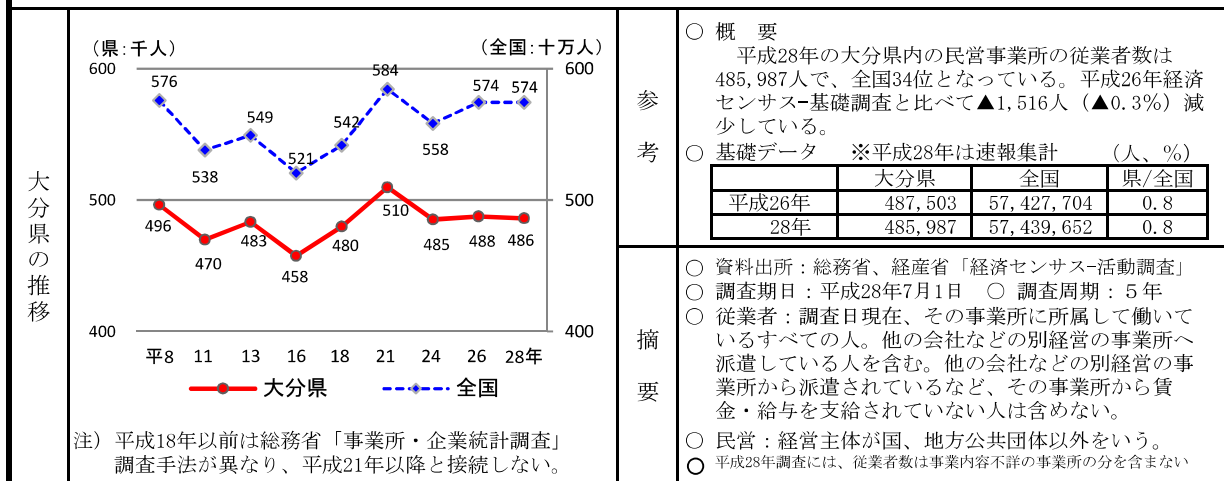
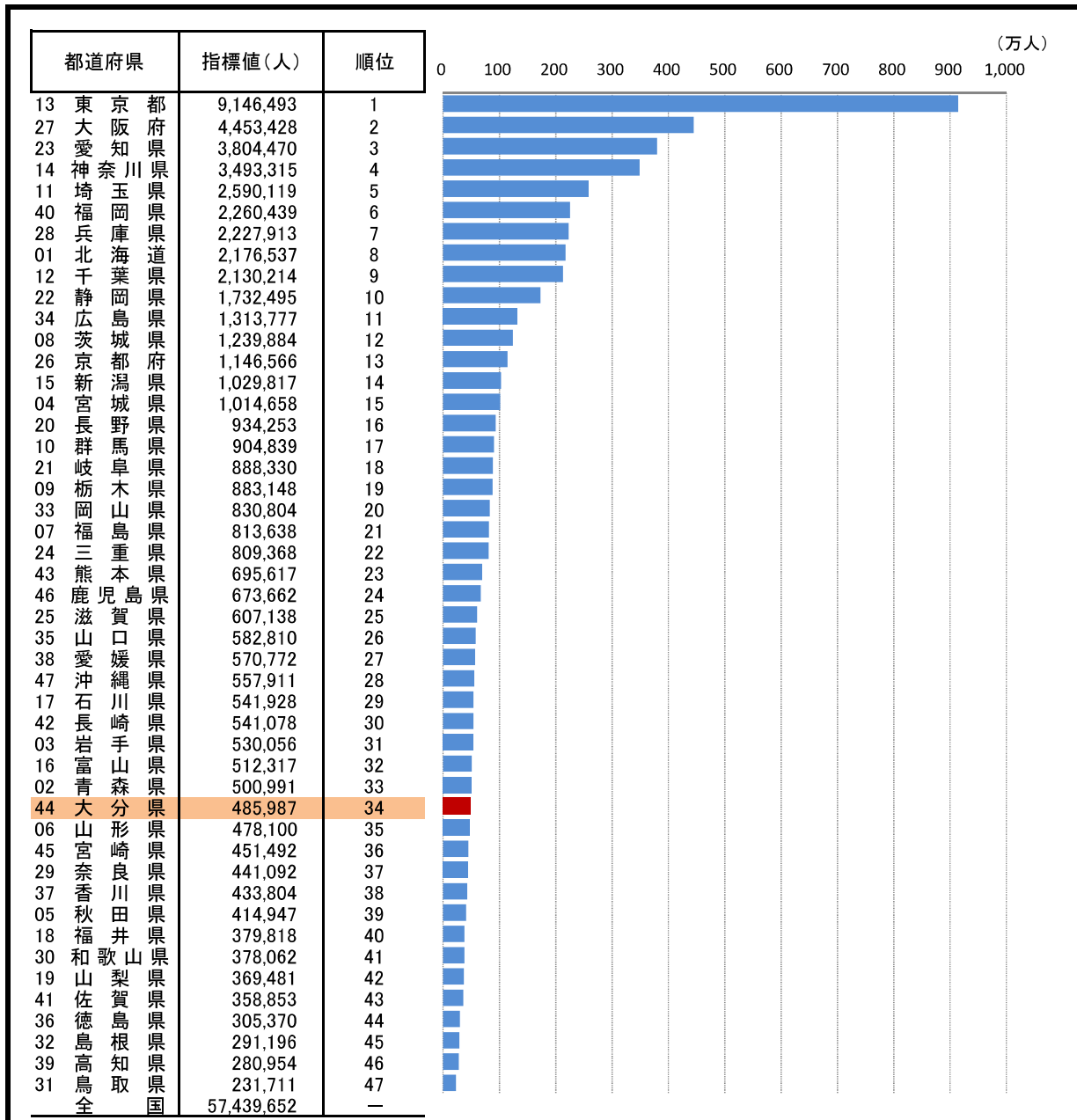
—平成28年—



* 順位は数値の大きい方からつけています。

26. 従業者数(民営)

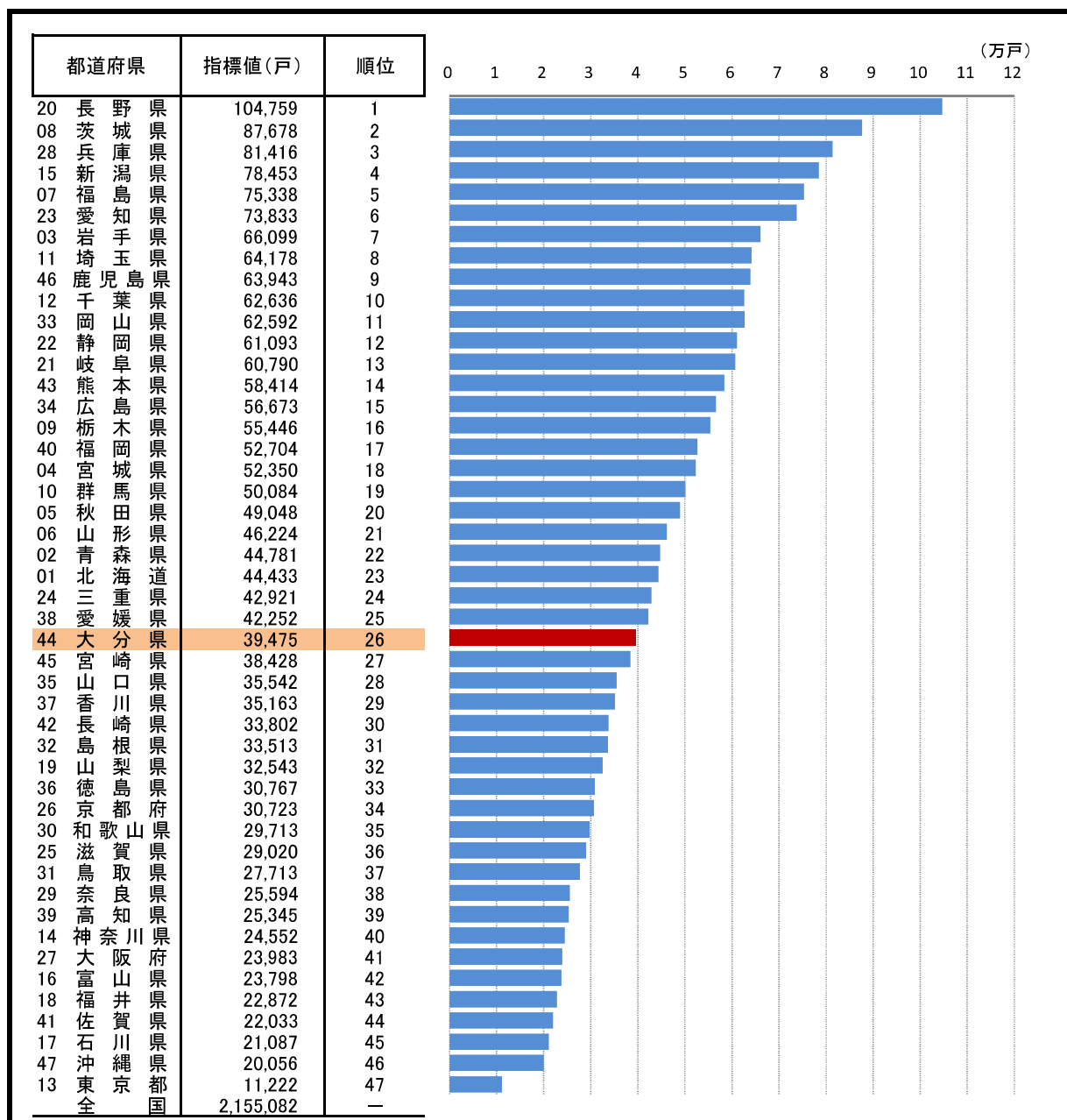
—平成28年—



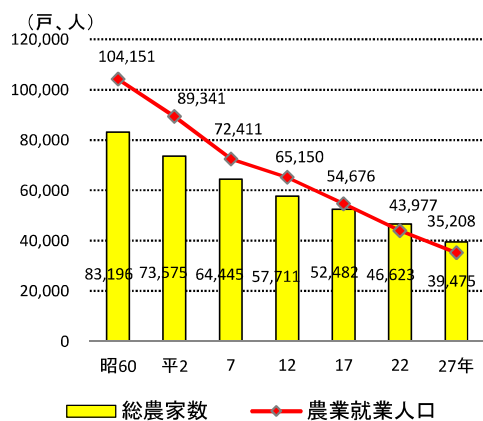
* 順位は数値の大きい方からつけています。

27. 総農家数

—平成27年—



大分県の推移



参考

- 概要
平成27年の大分県の総農家数は39,475戸で、平成22年と比べて7,148戸(15.3%)減少した。全国に占める割合は1.83%となり、全国26位となっている。
- 基礎データ及び参考指標(平成27年) (戸、人、%)

	大分県	全国	県/全国
総農家数	39,475	2,155,082	1.83
販売農家	24,300	1,329,591	1.83
自給的農家	15,175	825,491	1.84
農業就業人口	35,208	2,096,662	1.68

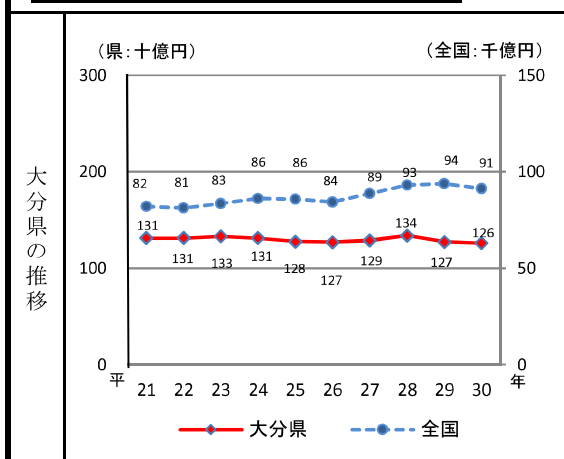
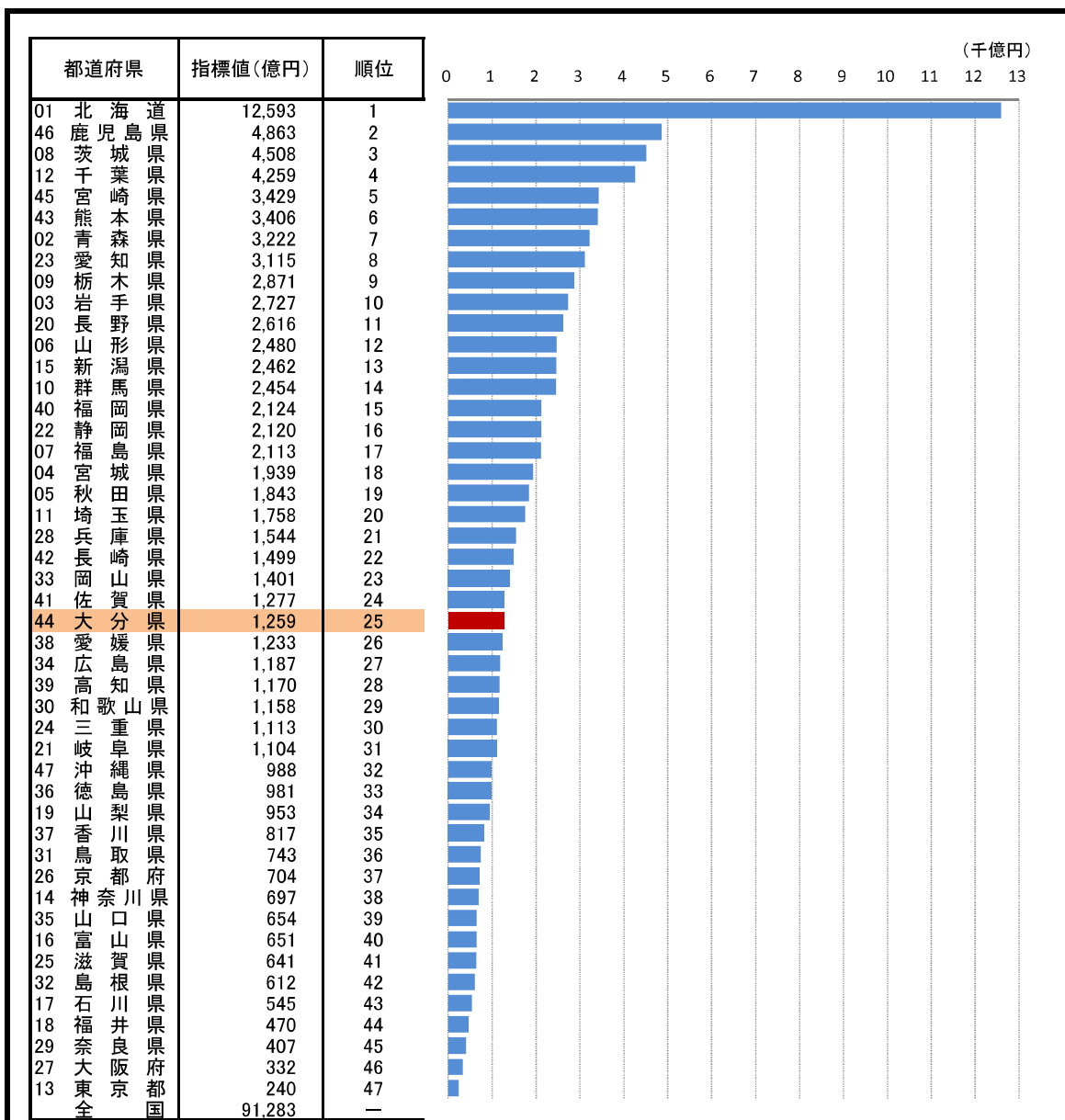
摘要

- 資料出所：農林水産省「農林業センサス」
- 調査期日：平成27年2月1日 ○ 調査周期：5年
- 農家：経営耕地面積が10アール以上又は調査期日前1年間に於ける農産物販売金額が15万円以上の規模の農業を行う世帯。
- 農業就業人口：自営農業に従事した世帯員（農業従事者）のうち、調査期日前1年間に自営農業に主として従事した世帯員数。

* 順位は数値の大きい方からつけています。

28. 農業産出額

—平成30年—



参 考

○ 概 要
平成30年の大分県内の農業産出額は1,259億円で、前年と比べて14億円(1.1%)減少した。全国に占める割合は1.4%となり、全国25位となっている。

○ 基礎データ及び参考指標(平成30年) (億円、%)

	大分県	全国	県/全国
農業産出額	1,259	91,283	1.4
生産農業所得	503	34,562	1.5
食料自給率	47	38	

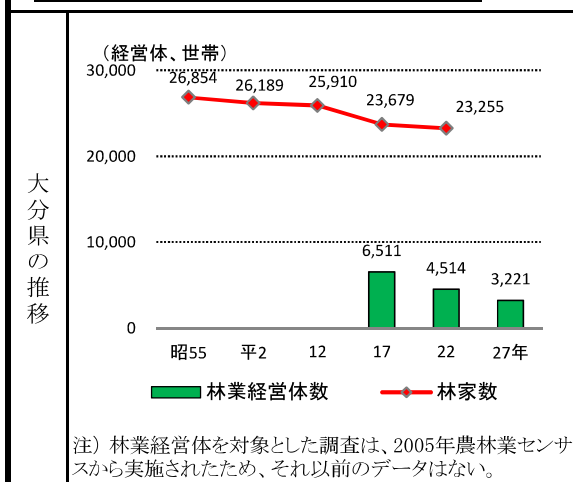
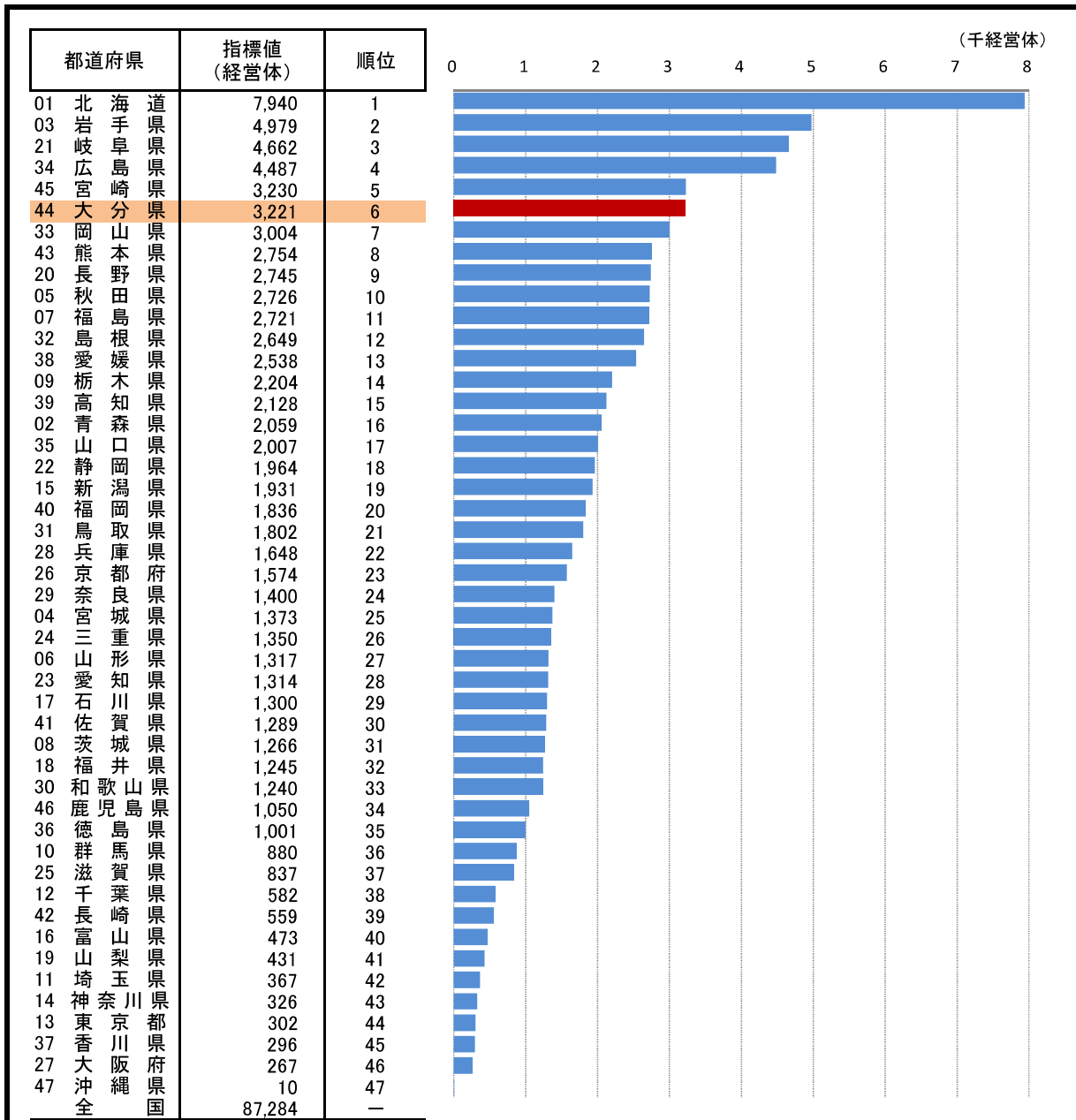
摘 要

- 資料出所：農林水産省「生産農業所得統計」
- 調査期日：平成30年 ○ 調査周期：毎年
- 農業産出額：農産物数量に農家庭先販売価格を乗じたもの。
- 生産農業所得：農業産出額から物的経費(減価償却費及び間接税を含む。)を控除し、経常補助金等を加算した額。
- 食料自給率は農林水産省「平成30年度都道府県別食料自給率について」によるカロリーベース確定値。

* 順位は数値の大きい方からつけています。

29. 林業経営体数

—平成27年—



○ 概要
平成27年の大分県内の林業経営体数は3,221経営体で、平成17年と比べて1,293経営体(28.6%)減少した。全国に占める割合は3.69%で、全国6位であった。

○ 基礎データ (経営体、%)

	大分県	全国	県/全国
平成22年	4,514	140,186	3.22
平成27年	3,221	87,284	3.69
増減率	▲ 28.6	▲ 37.7	

○ 参考指標 (世帯、%)

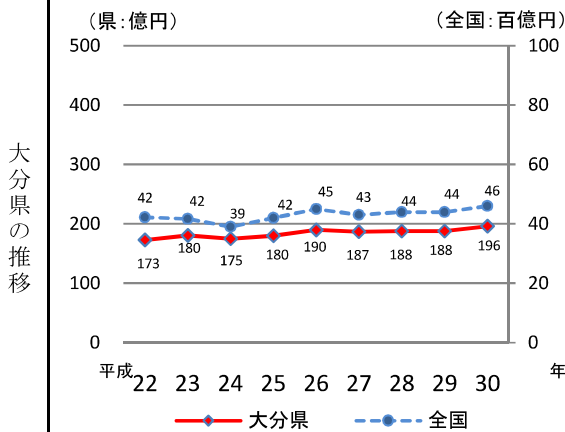
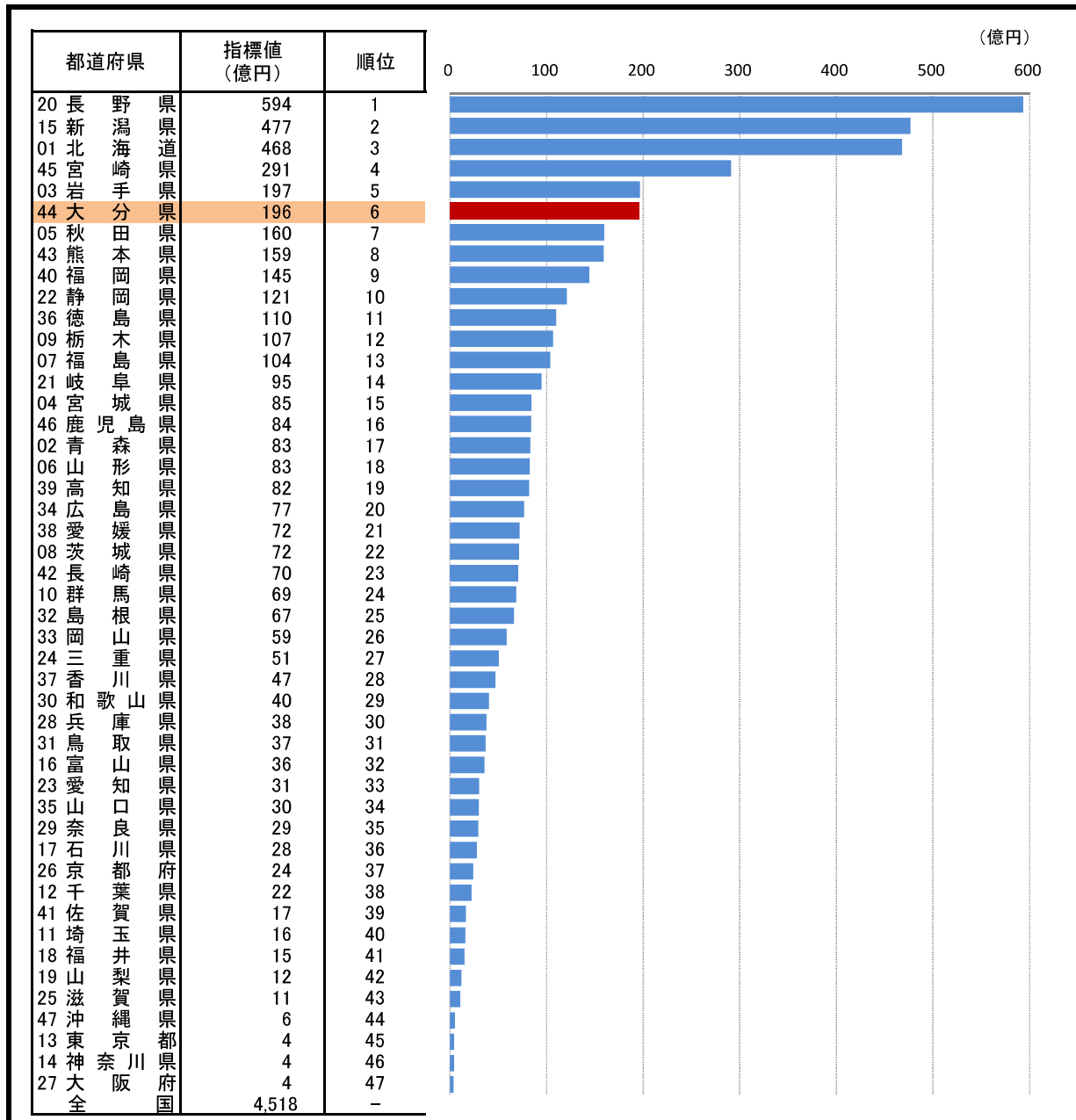
	大分県	全国	県/全国
林家数 (22年)	23,255	906,805	2.56

○ 資料出所：農林水産省「農林業センサス」
○ 調査期日：平成27年2月1日 ○ 調査周期：5年
○ 林業経営体：保有山林の面積が3ヘクタール以上の規模の林業又は委託を受けて行う育林若しくは素材生産又は立木を購入して行う素材生産の事業を行う者。
○ 林家：保有山林面積が1ヘクタール以上の世帯。

* 順位は数値の大きい方からつけています。

30. 林業産出額

—平成30年—



○ 概要
平成30年の県内林業産出額は1,956千万円で、前年と比べて19千万円(0.9%)増加した。全国に占める割合は4.2%となり、全国6位となっている。

○ 基礎データ及び参考指標 (平成30年) (千万円、%)

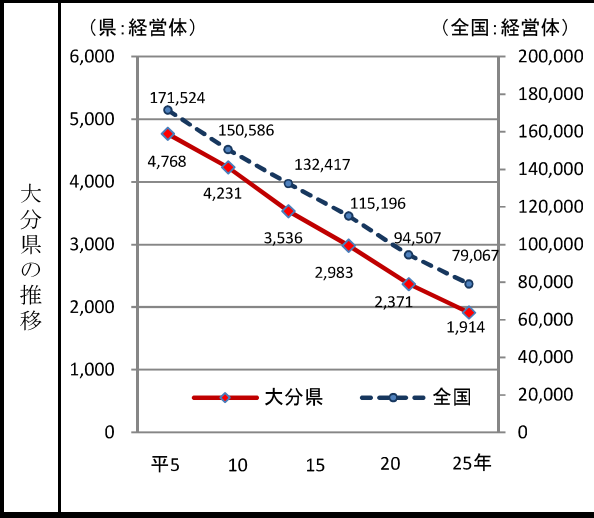
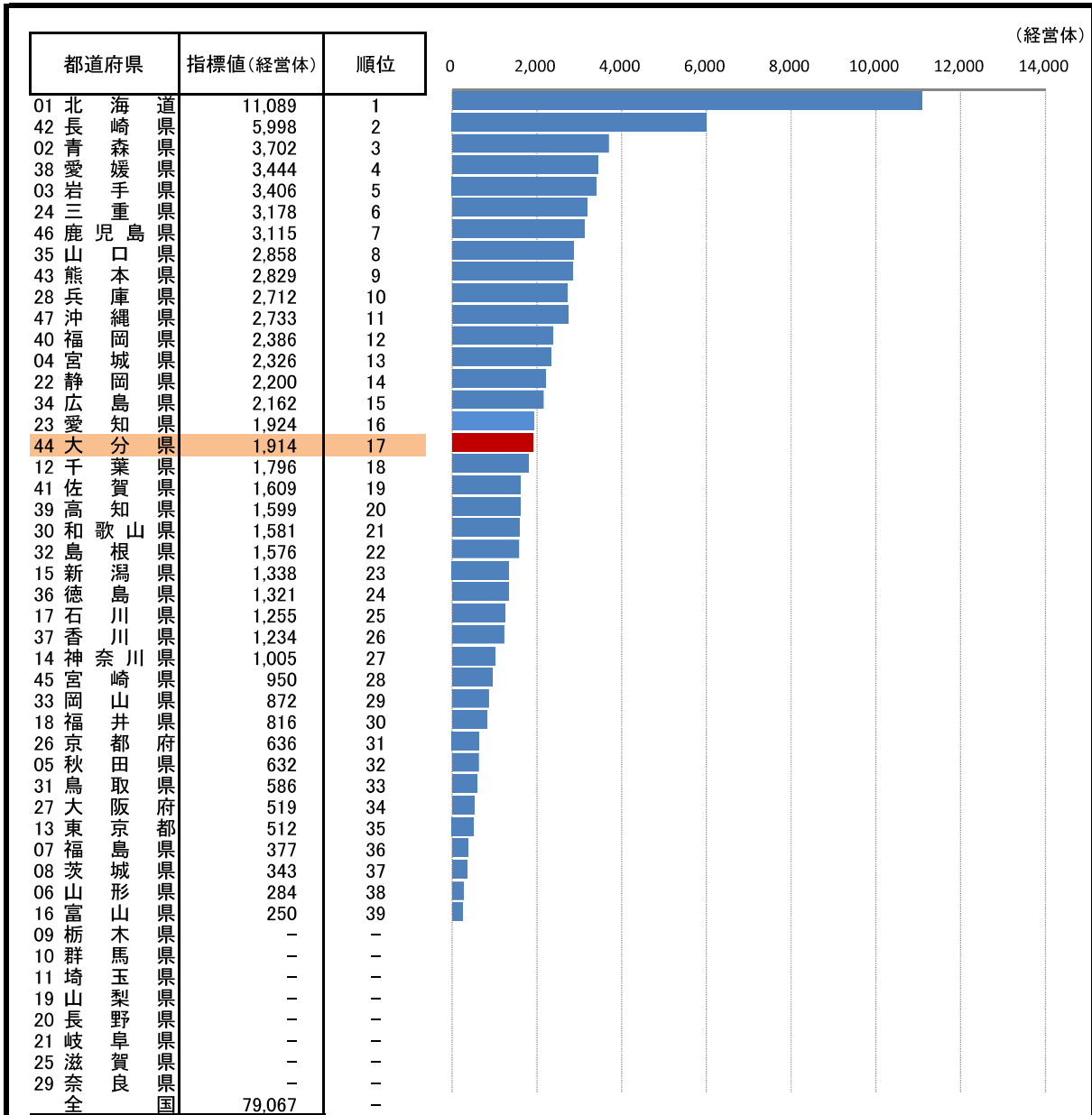
	大分県	全国	県/全国
林業産出額	1,956	46,285	4.2
木材生産	1,306	22,787	5.7
栽培きのこ類生産	640	22,566	2.8

○ 資料出所：農林水産省「林業産出額」
○ 調査期日：平成30年
○ 調査周期：毎年
○ 林業産出額：各林産物の素材生産量に単価を乗じて推計したもの。

* 順位は数値の大きい方からつけています。

31. 海面漁業経営体数

—平成30年—



○ 概要
大分県の平成30年の海面漁業経営体数は1,914経営体で、平成25年から457経営体減少し、全国17位となっている。

○ 基礎データ (平成30年) (経営体)

	大分県	全国
海面漁業経営体数	1,914	79,067

○ 参考指標 (平成30年)

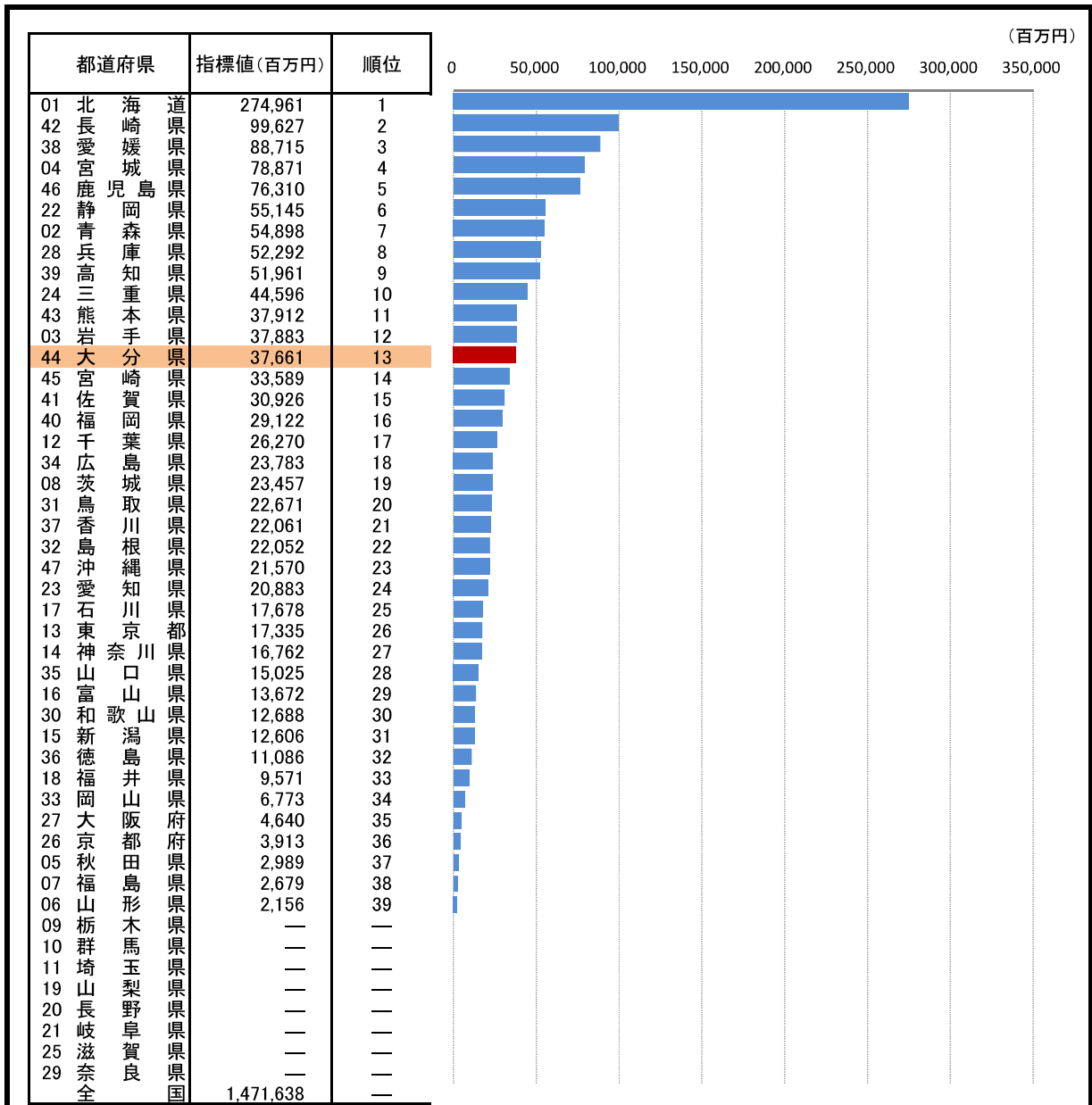
海面漁業就業者数	3,455 人(17位)
----------	--------------

○ 資料出所: 農林水産省「2018年漁業センサス」
○ 調査期日: 平成30年11月1日
○ 調査周期: 5年
○ 海面漁業経営体: 過去1年間に利潤または生活の資を得るために、生産物を販売することを目的として、海面において水産動植物の採捕又は養殖の事業を行った世帯又は事業所。

* 順位は数値の大きい方からつけています。

32. 漁業産出額

—平成30年—



大分県の漁業産出額内訳

海面漁業産出額

- いわし類 16%
- まぐろ類 12%
- あじ類 6%
- 海藻類 16%
- たろうお 3%
- えび類 3%
- いか類 3%
- たい類 4%
- ぶり類 5%
- 貝類 3%
- その他 28%

海面養殖業産出額

- ぶり類 74%
- くらまぐろ 8%
- ひらめ 5%
- しまあじ 3%
- ふぐ類 2%
- またい 2%
- 真珠貝類 1%
- その他 4%

参考

○ 概要
大分県の平成30年の漁業産出額は37,661百万円で、平成29年から1,561百万円増加し、全国13位となっている。

○ 基礎データ (平成30年) (百万円)

	大分県	全国
海面漁業産出額	12,732	937,726
海面養殖業産出額	24,929	486,064

○ 参考指標 (平成30年)

海面漁業漁獲量	31,562 t (23位)
海面養殖業収穫量	23,421 t (16位)

資料出所: 農林水産省「漁業・養殖業生産統計年報」(平成29年)

摘要

○ 資料出所: 農林水産省「漁業産出額」

○ 調査期日: 平成30年

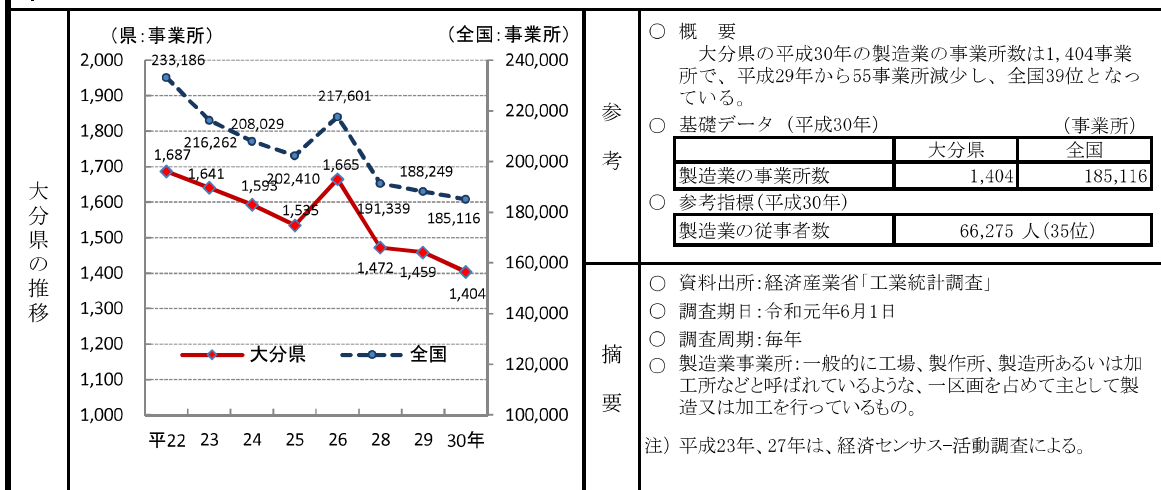
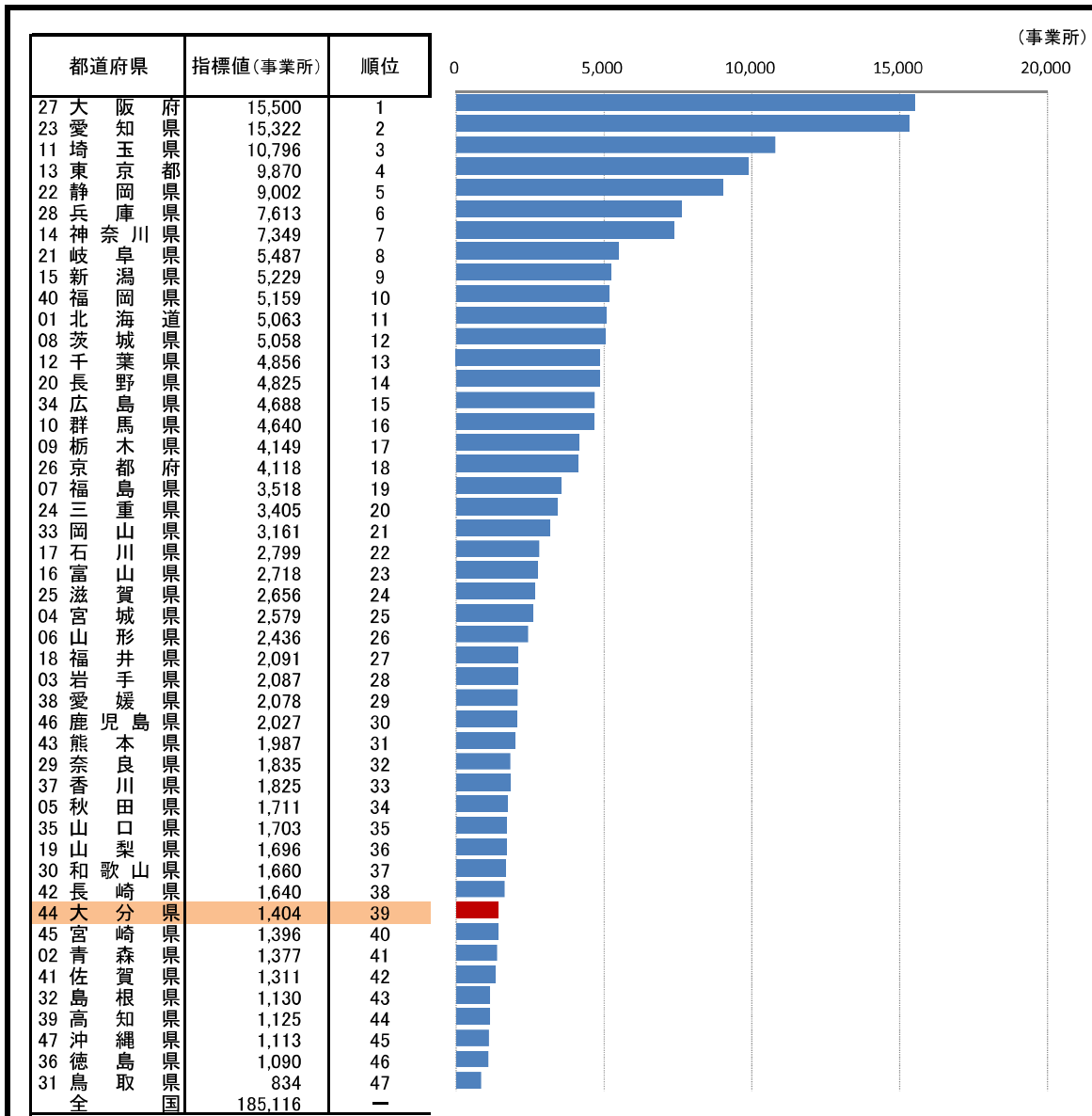
○ 調査周期: 毎年

○ 漁業産出額: 海面漁業生産統計調査結果から得られる魚種別生産量に(社)漁業情報サービスセンター、主要産地の市場、関係団体等から得られる魚種別価格を乗じて推計したものの。

* 順位は数値の大きい方からつけています。

33. 製造業の事業所数(従業員4人以上の事業所)

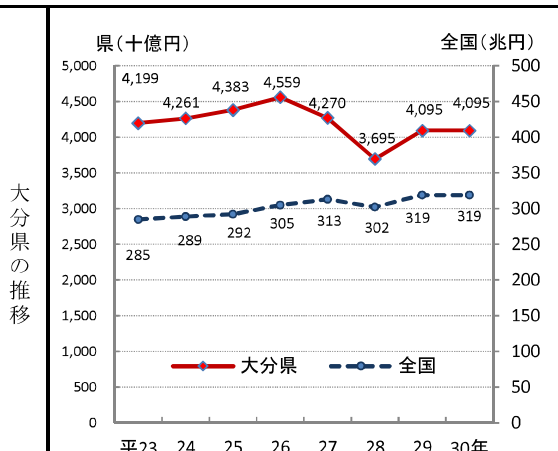
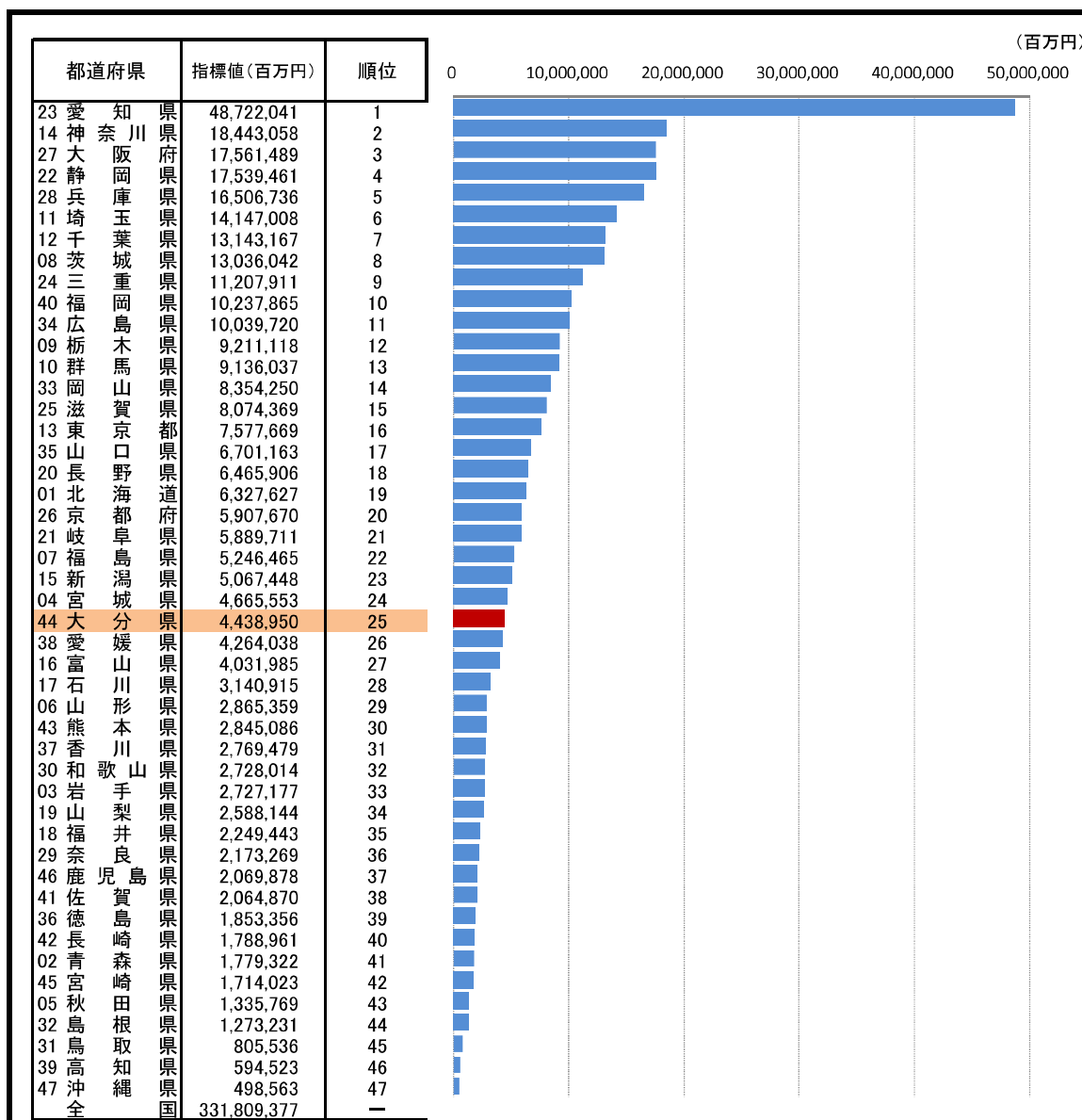
—平成30年—



* 順位は数値の大きい方からつけています。

34. 製造品出荷額等

—平成30年—



参 考

○ 概 要
大分県の平成30年の製造品出荷額等は4438950百万円で、平成29年から343,976百万円増加し、全国25位となっている。

○ 基礎データ (平成30年) (百万円)

	大分県	全国
製造品出荷額等	4,438,950	33,180,377

摘 要

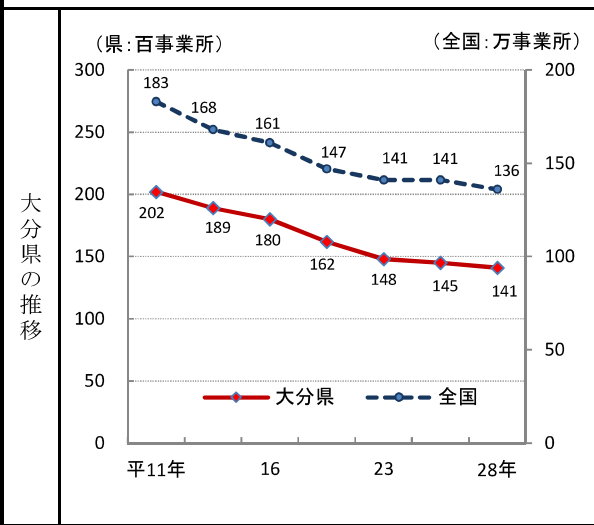
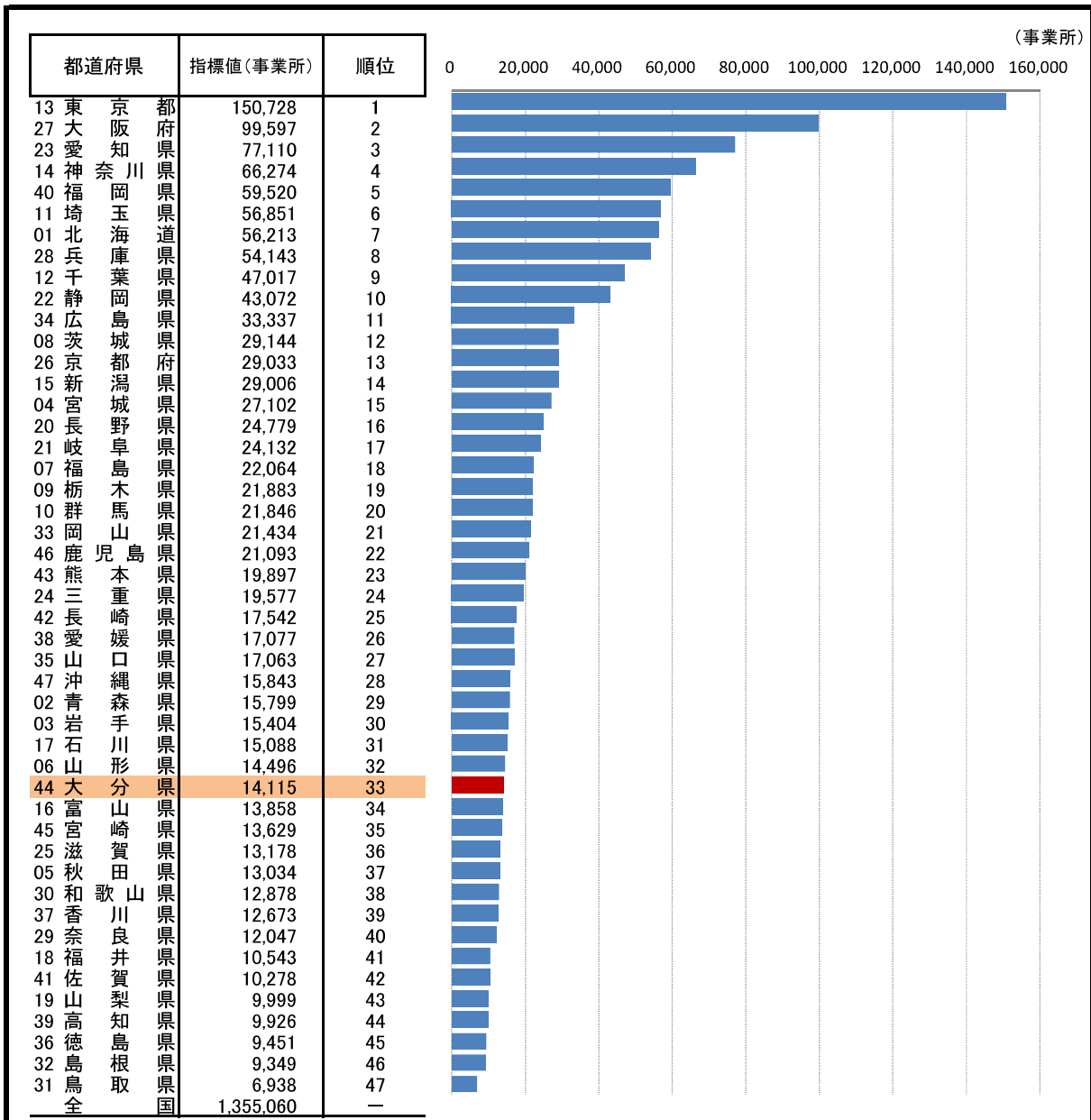
○ 資料出所: 経済産業省「工業統計調査」
 ○ 調査期日: 令和元年6月1日
 ○ 調査周期: 毎年
 ○ 製造品出荷額等: 1年間(1~12月)における製造品出荷額、加工賃収入額、その他収入額及び製造工程から出たくず及び廃物の出荷額の合計であり、消費税等国内消費税額を含んだ額。

注) 平成23年、27年は、経済センサス-活動調査による。

* 順位は数値の大きい方からつけています。

35. 商業の事業所数

—平成28年—



○ 概要
大分県の平成28年の商業の事業所数は14,115事業所で、平成26年から410事業所減少し、全国33位となっている。

○ 基礎データ (平成28年)

	大分県	全国
商業の事業所数	14,115	1,355,060

○ 参考指標 (平成28年)

商業事業所従業者数	95,817 人(33位)
-----------	---------------

○ 資料出所: 経済産業省「経済センサス活動調査」

○ 調査期日: 平成28年6月1日

○ 調査周期: 5年

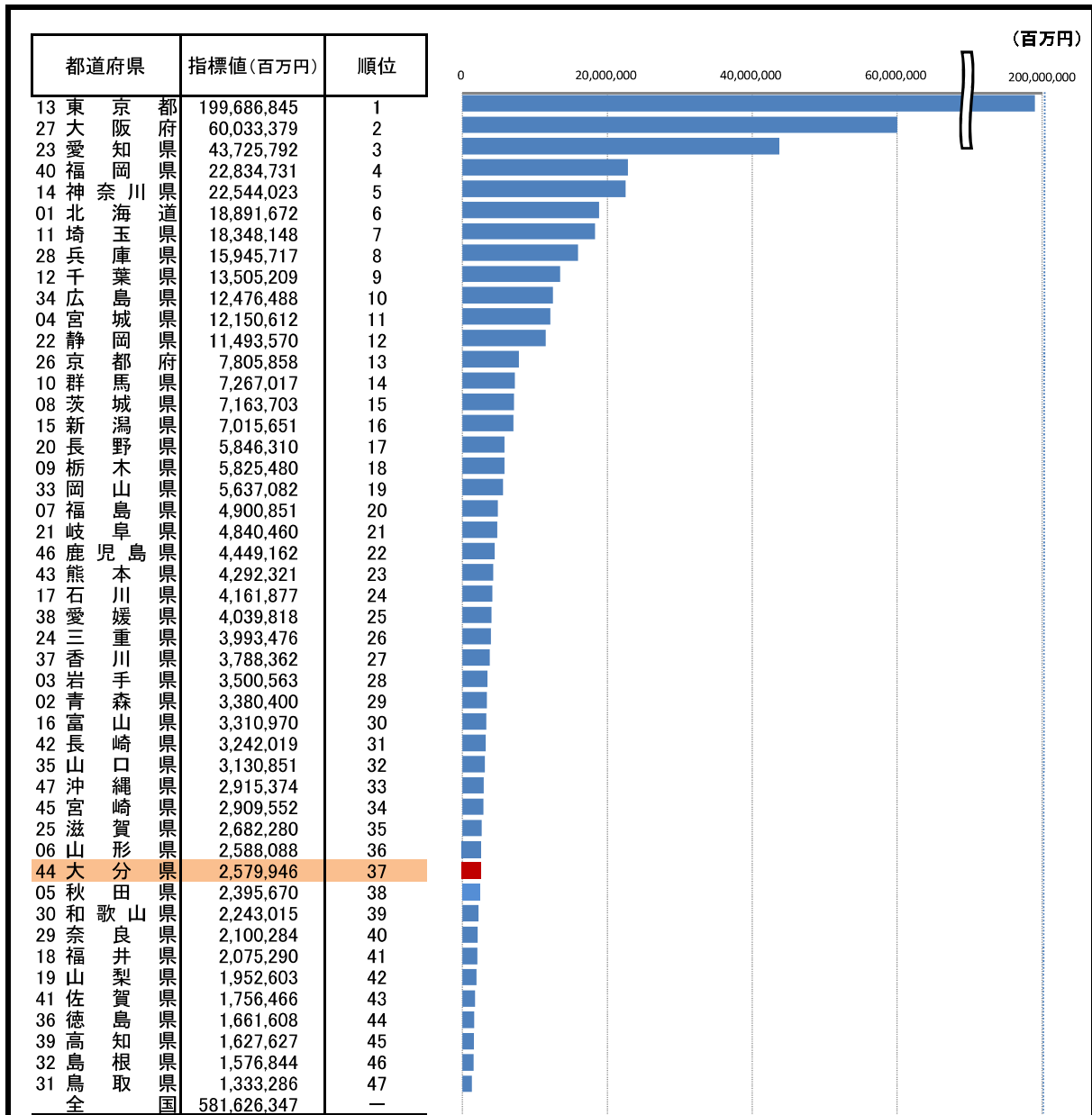
○ 商業事業所: 有体的商品を購入して販売する事業所であつて、一般的に卸売業、小売業といわれる事業所。

注) 平成19年以前及び平成26年は商業統計調査による。

* 順位は数値の大きい方からつけています。

36. 年間商品販売額

—平成27年—



大分県の推移

年	大分県	全国
平11	3,056	639
14	2,696	548
16	2,586	539
19	2,557	548
23	2,052	480
26	2,154	479
27年	2,579.946	582

参 考

- 概 要
大分県の平成27年の年間商品販売額は2兆5799億4600万円、平成26年から4259億6200百万増加し、全国37位となっている。
- 基礎データ (平成27年) (百万円)

	大分県	全国
年間商品販売額	2,579,946	581,626,347

摘 要

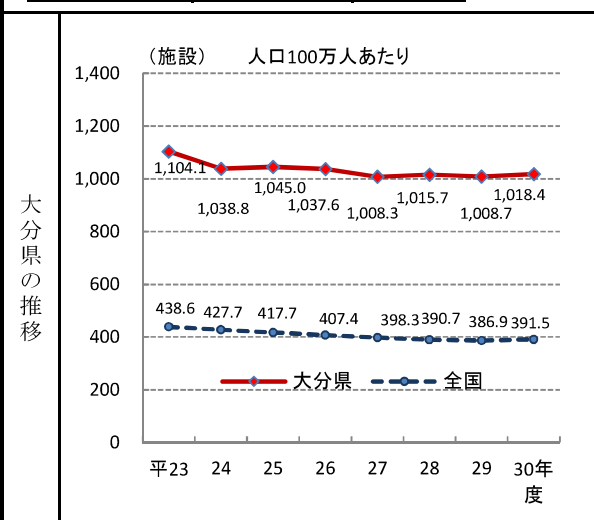
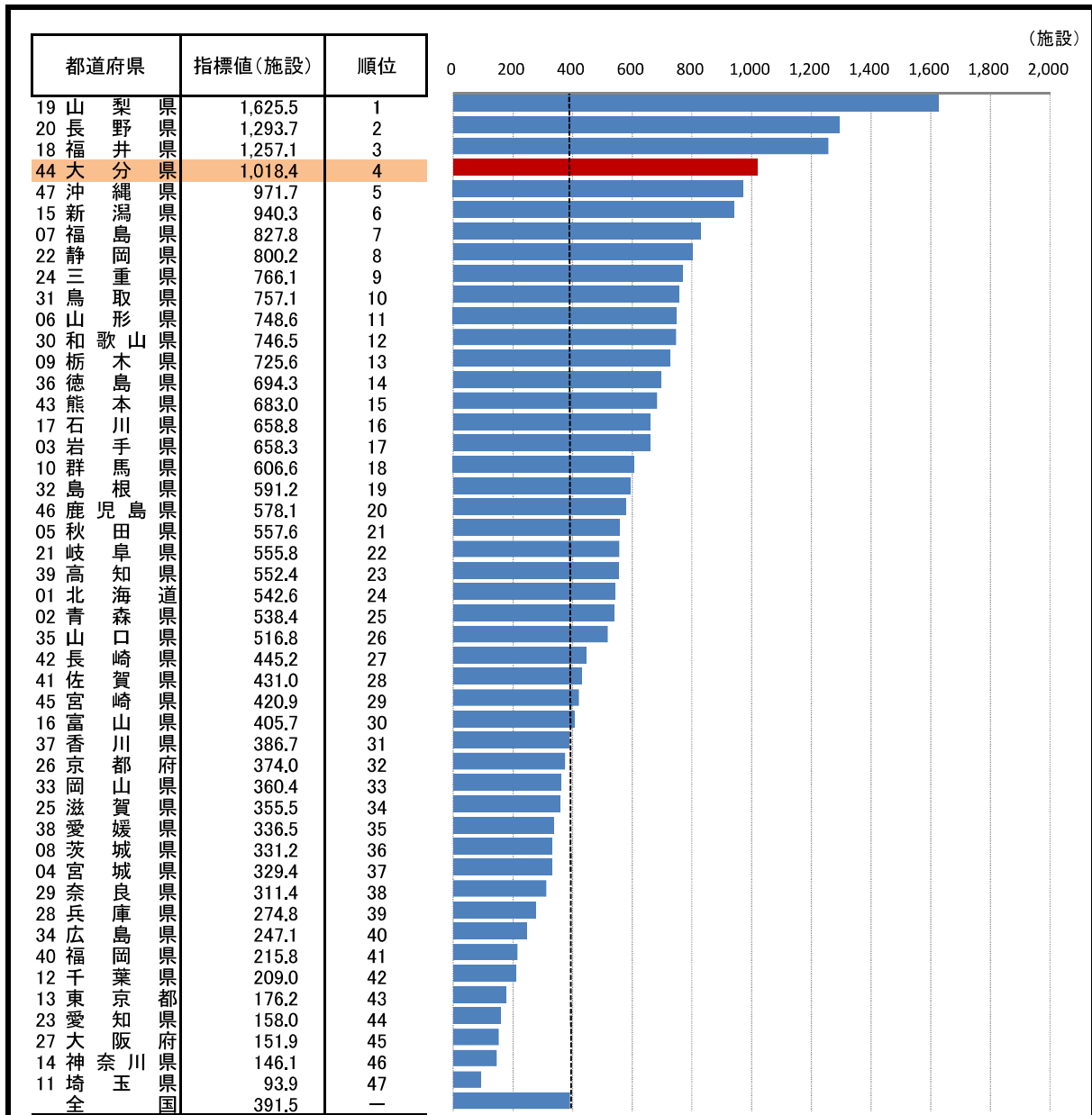
- 資料出所: 経済産業省「経済センサス活動調査」
- 調査期日: 平成28年6月1日
- 調査周期: 5年
- 年間商品販売額: 1年間(1~12月)の当該事業所における有体商品の販売額をいい、消費税額を含む。

注) 平成19年以前及び平成26年は商業統計調査による。

* 順位は数値の大きい方からつけています。

37. ホテル・旅館施設数(人口100万人あたり)

—平成30年度—



○ 概要
大分県の平成30年度のホテル・旅館施設数(人口100万人あたり)は1018.4施設で、前年度から9.6施設増加し、全国4位となっている。

○ 基礎データ(平成29年度) (施設)

	大分県	全国
ホテル・旅館施設数	1,165	49,502

○ 資料出所:厚生労働省「衛生行政報告例」

○ 調査期日:平成31年3月31日

○ 調査周期:毎年度

○ ホテル・旅館:旅館業法第2条に規定された旅館業で、ホテルは主に洋式の構造・設備を持つ施設、旅館は主に和式の構造・設備を持つ施設。

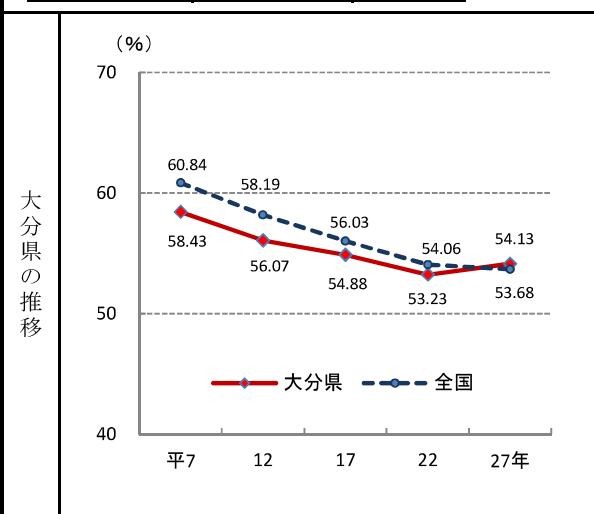
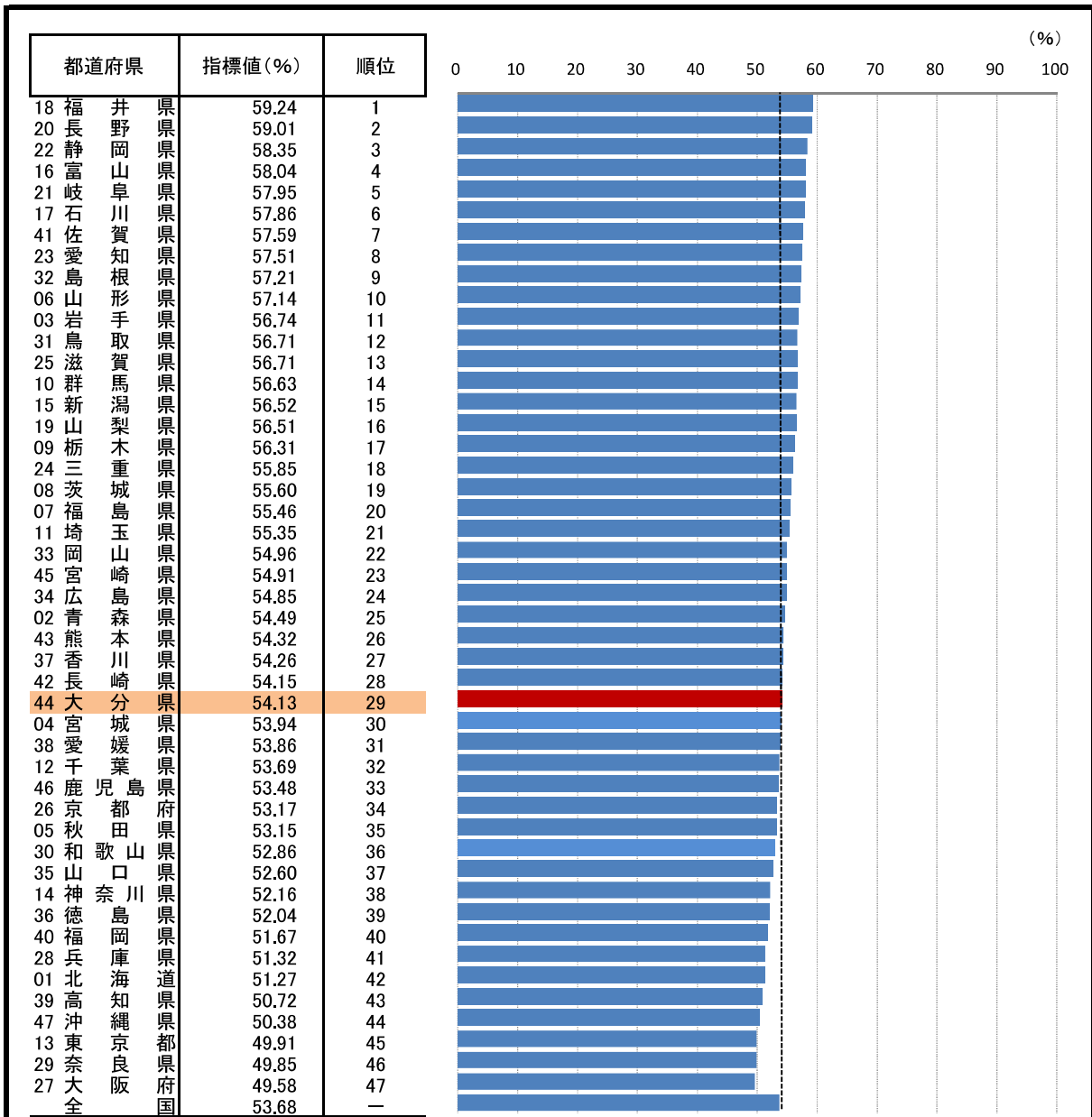
* 順位は数値の大きい方からつけています。

5 労働



38. 就業率

—平成27年—



参考

○ 概要
大分県の平成27年の就業率は54.13%で、平成22年から0.90ポイント増加し、全国29位となっている。

○ 基礎データ (平成27年) (人)

	大分県	全国
就業者数	546,167	58,919,036

○ 参考指標 (平成27年)

女性就業率	45.83 % (30位)
-------	---------------

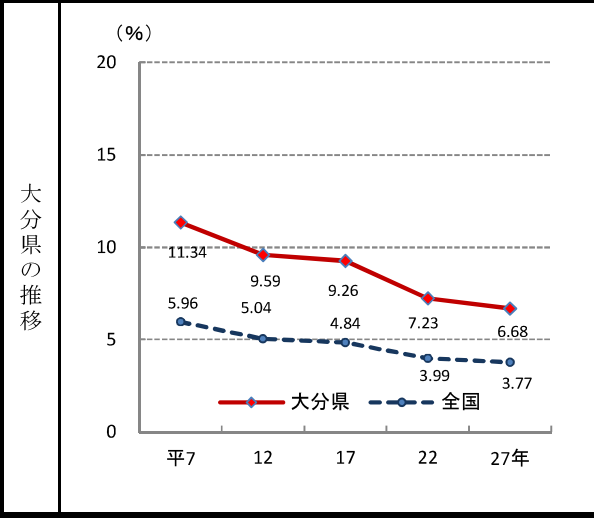
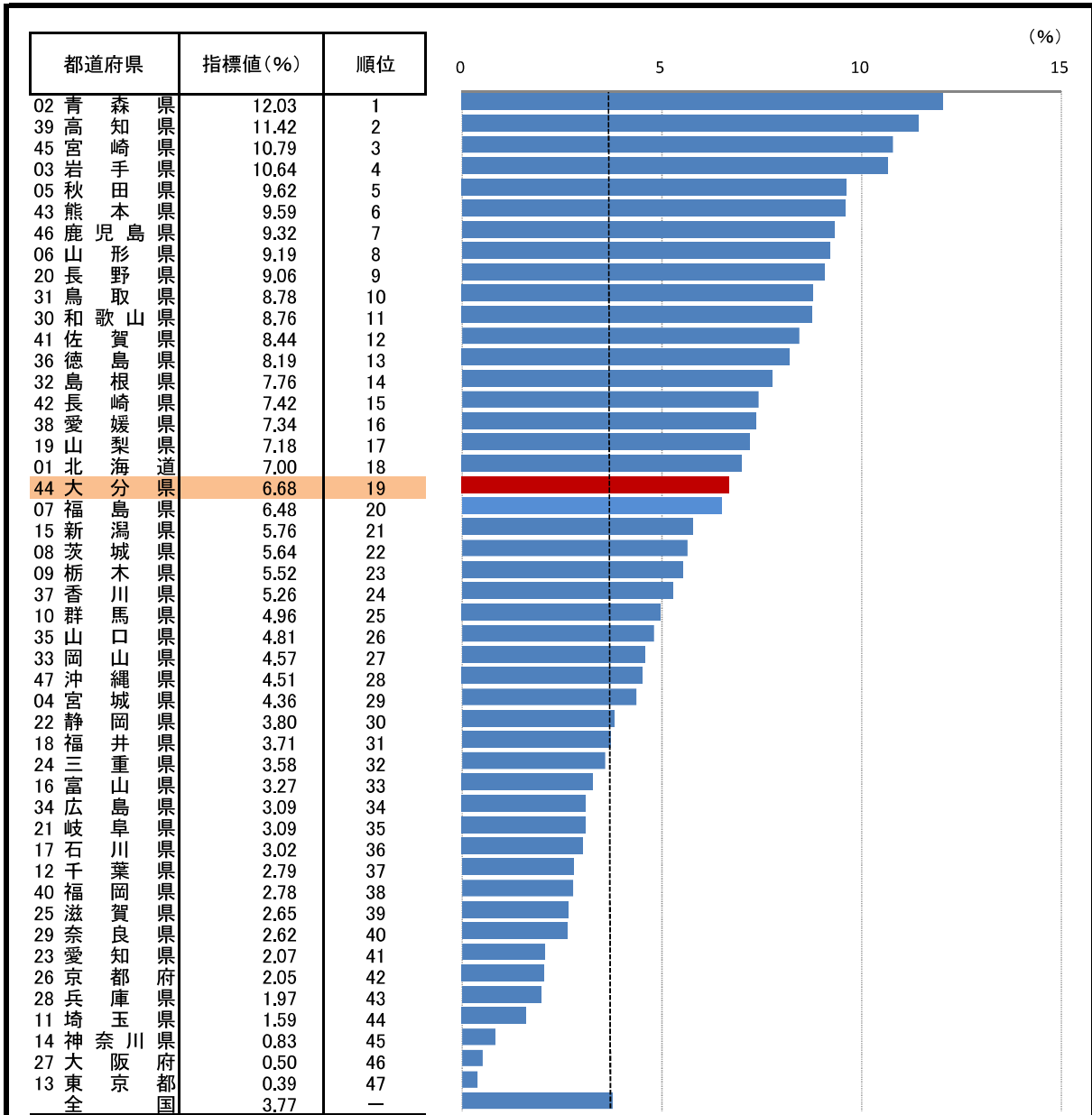
摘要

○ 資料出所: 総務省「国勢調査」
 ○ 調査期日: 平成27年10月1日
 ○ 調査周期: 5年
 ○ 就業率: 就業者数 ÷ 15歳以上人口
 女性就業率: 女性就業者数 ÷ 15歳以上女性人口
 注) 就業者総数には産業分類「分類不能」を含む。

* 順位は数値の大きい方からつけています。

39. 第1次産業就業者比率(対就業者総数)

—平成27年—



○ 概 要
大分県の平成27年の第1次産業就業者比率(対就業者総数)は6.68%で、平成22年から0.55ポイント減少し、全国19位となっている。

○ 基礎データ(平成27年) (人)

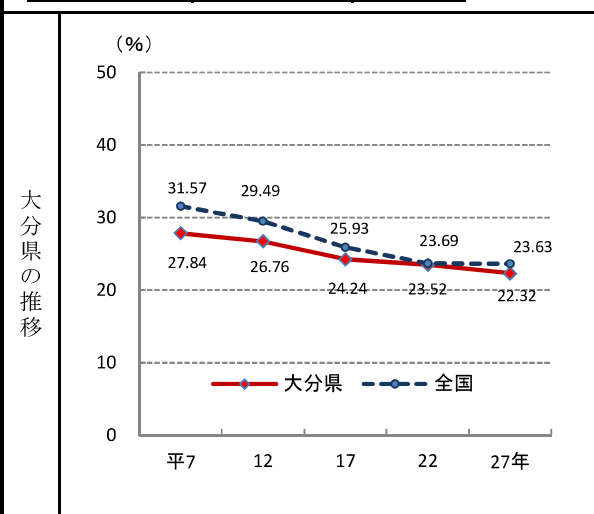
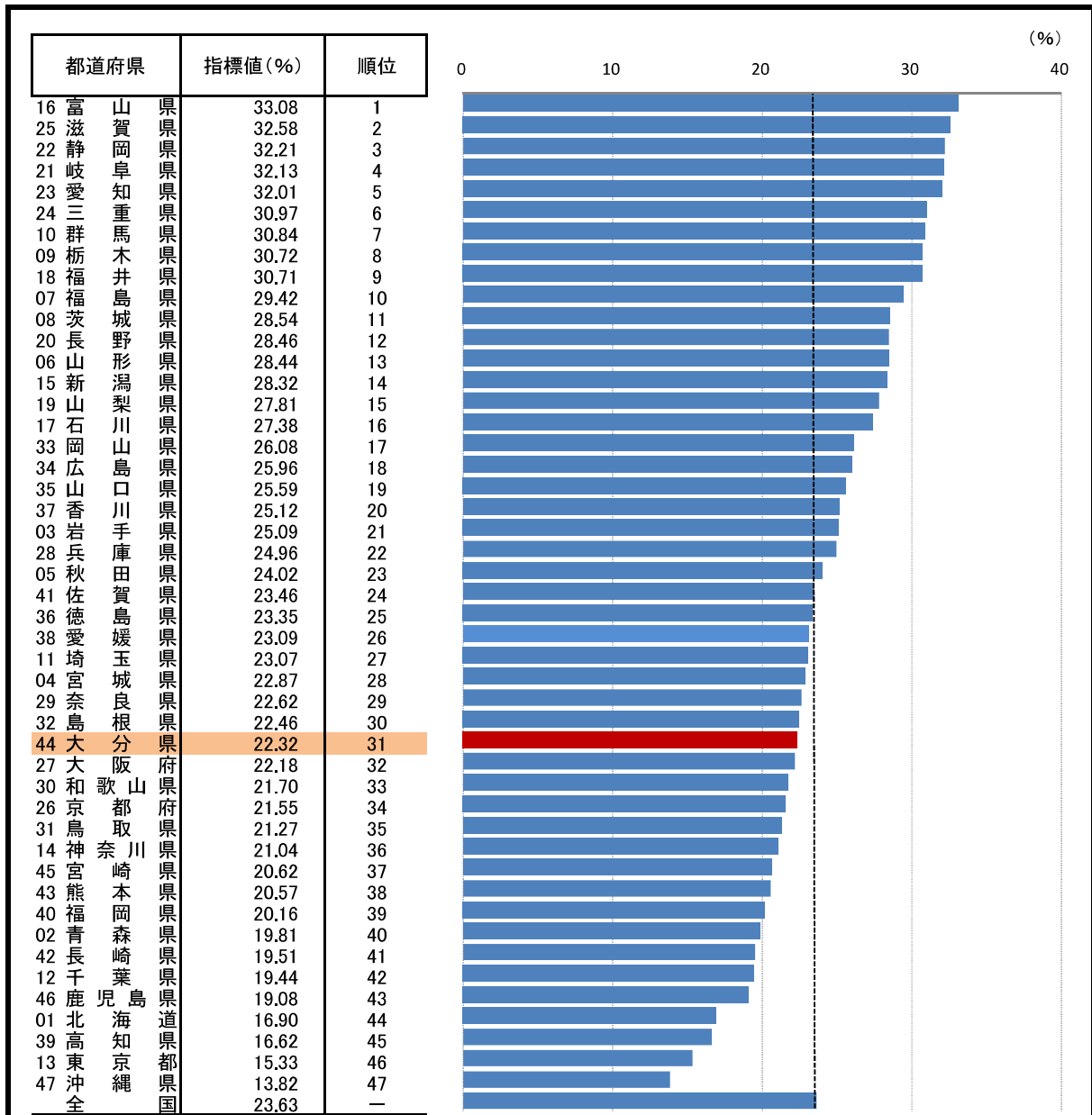
	大分県	全国
第1次産業就業者数	36,475	2,221,669
就業者総数	546,167	58,919,036

○ 資料出所:総務省「国勢調査」
○ 調査期日:平成27年10月1日
○ 調査周期:5年
○ 第1次産業:農業、林業、漁業
注) 就業者総数には産業分類「分類不能」を含む。

* 順位は数値の大きい方からつけています。

40. 第2次産業就業者比率(対就業者総数)

—平成27年—



○ 概要
大分県の平成27年の第2次産業就業者比率(対就業者総数)は22.32%で、平成22年から1.20ポイント減少し、全国31位となっている。

○ 基礎データ(平成27年) (人)

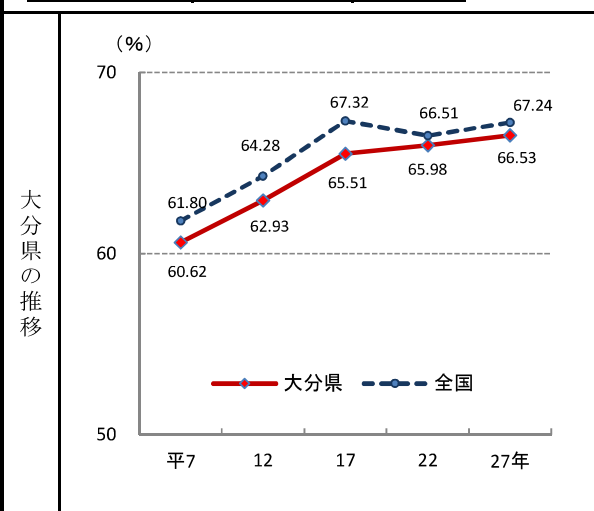
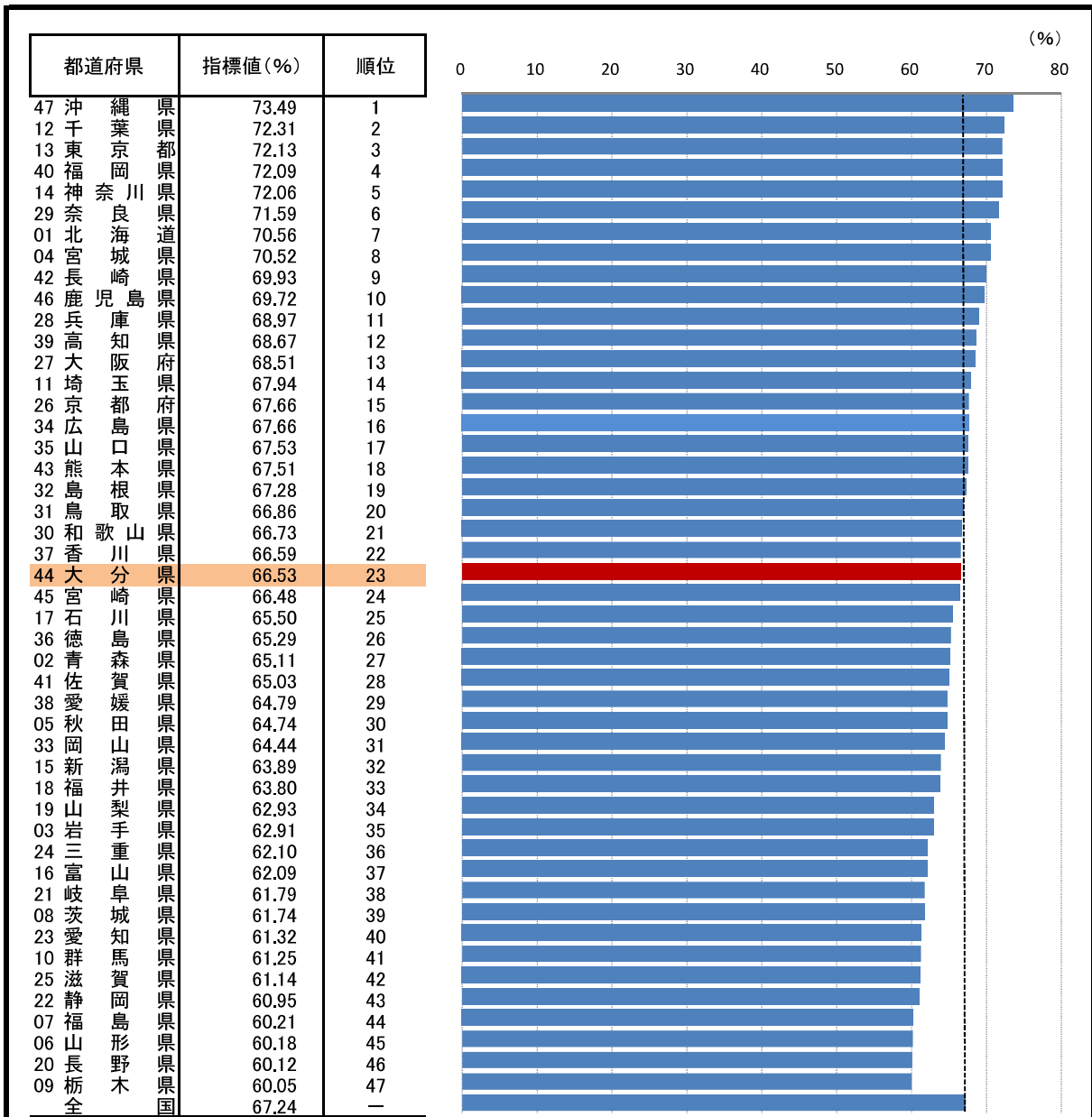
	大分県	全国
第2次産業就業者数	121,915	13,920,834
就業者総数	546,167	58,919,036

○ 資料出所:総務省「国勢調査」
○ 調査期日:平成27年10月1日
○ 調査周期:5年
○ 第2次産業:鉱業、建設業、製造業
注) 就業者総数には産業分類「分類不能」を含む。

* 順位は数値の大きい方からつけています。

41. 第3次産業就業者比率(対就業者総数)

—平成27年—



○ 概要
大分県の平成27年の第3次産業就業者比率(対就業者総数)は66.53%で、平成22年から0.55ポイント増加し、全国23位となっている。

○ 基礎データ(平成27年) (人)

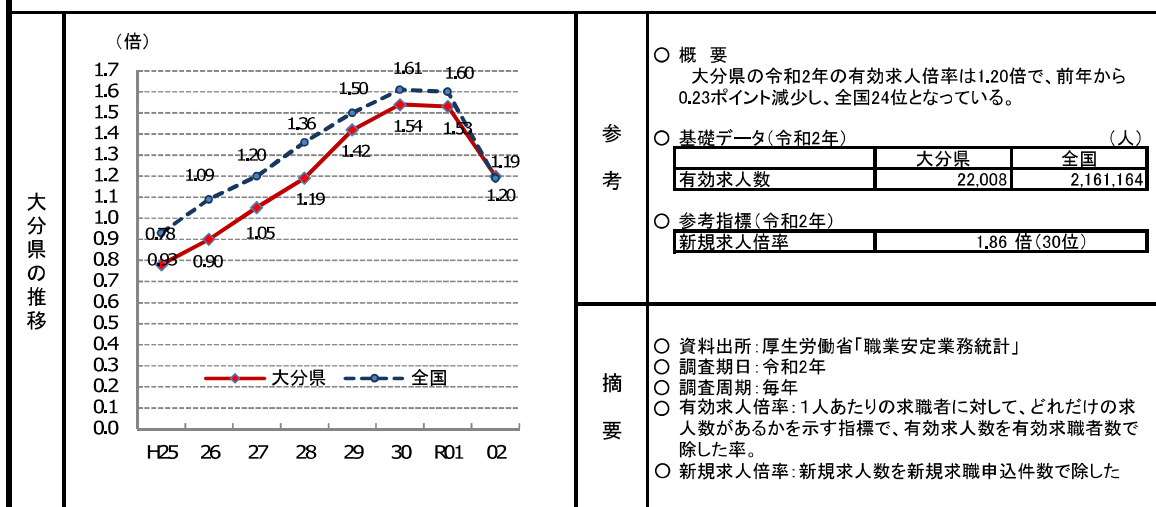
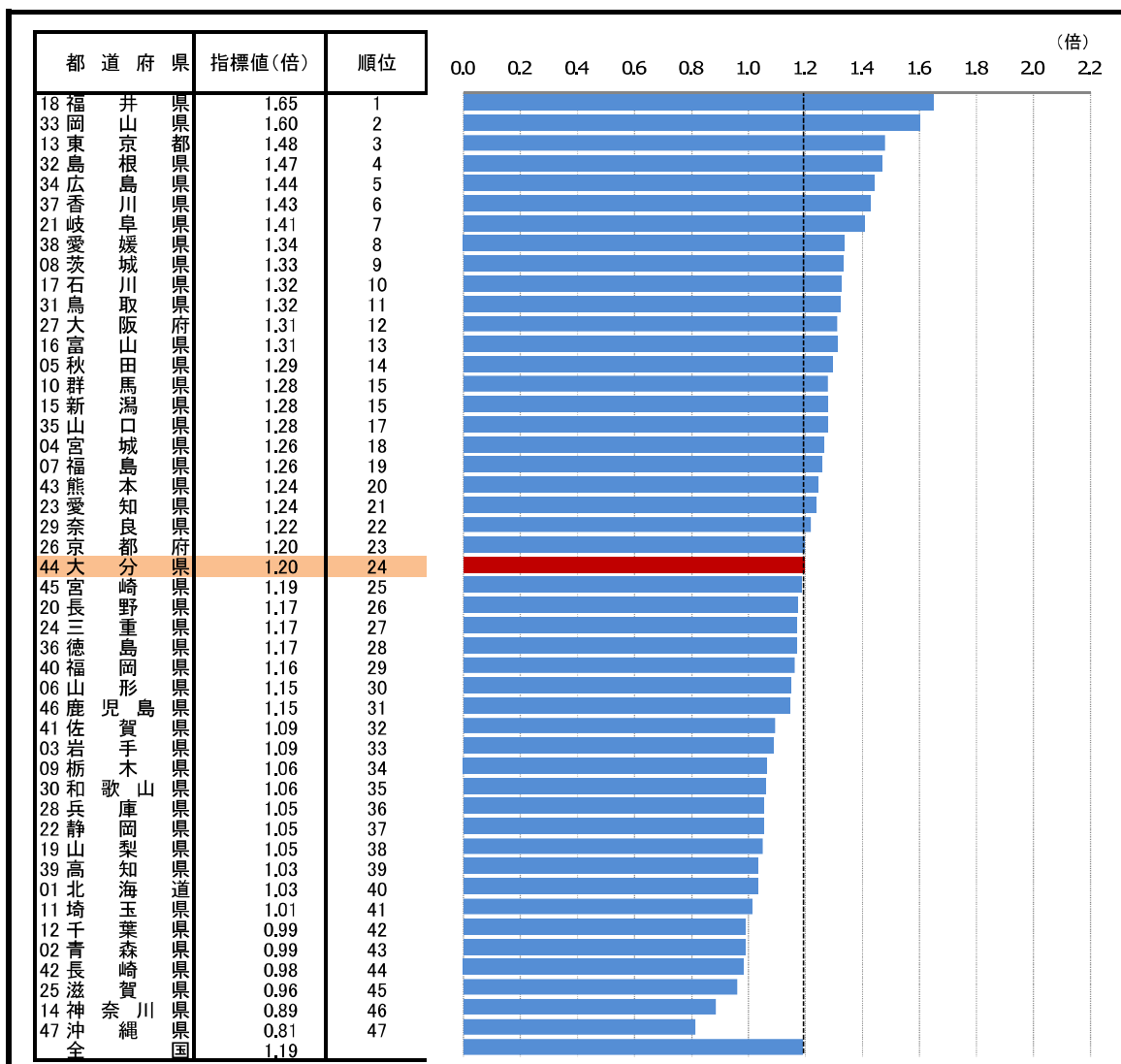
	大分県	全国
第3次産業就業者数	363,361	39,614,567
就業者総数	546,167	58,919,036

○ 資料出所: 総務省「国勢調査」
○ 調査期日: 平成27年10月1日
○ 調査周期: 5年
○ 第3次産業: 電気、ガス、卸売、小売など、第1次産業・第2次産業以外の産業。
注) 就業者総数には産業分類「分類不能」を含む。

* 順位は数値の大きい方からつけています。

42. 有効求人倍率

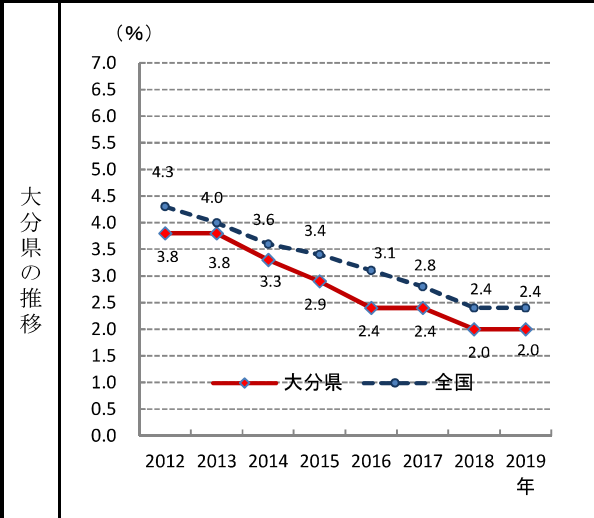
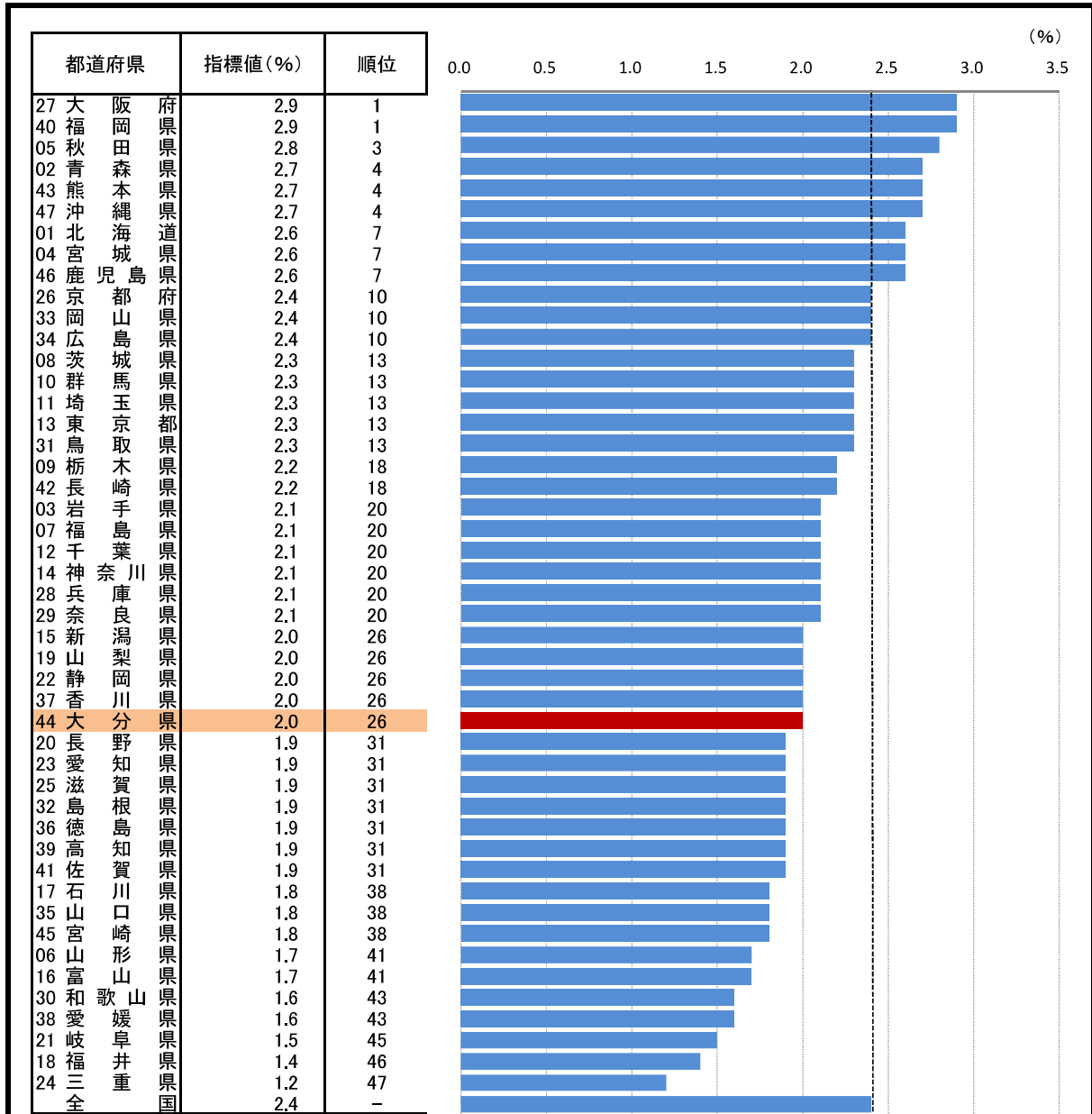
—令和2年—



* 順位は数値の大きい方からつけています。

43. 完全失業率

—令和元年—



○ 概 要
大分県の令和元年の完全失業率は2.0%で前年から変動はなく、全国26位となっている。

○ 基礎データ (令和元年) (千人)

	大分県	全国
完全失業者数	12	1,543

注) 大分県の完全失業者数(千人)はモデル推計値である。

○ 資料出所: 総務省「労働力調査年報」

○ 調査期日: 令和元年

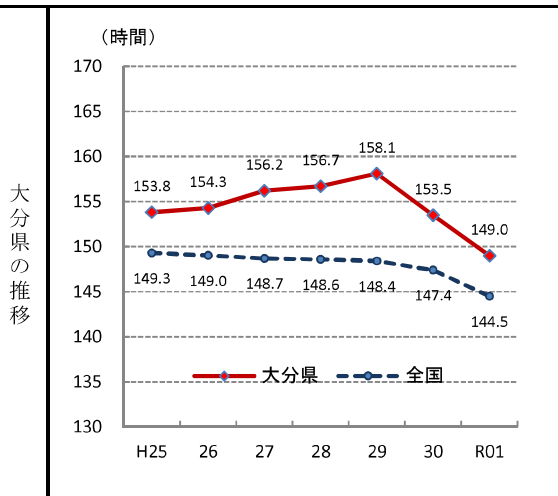
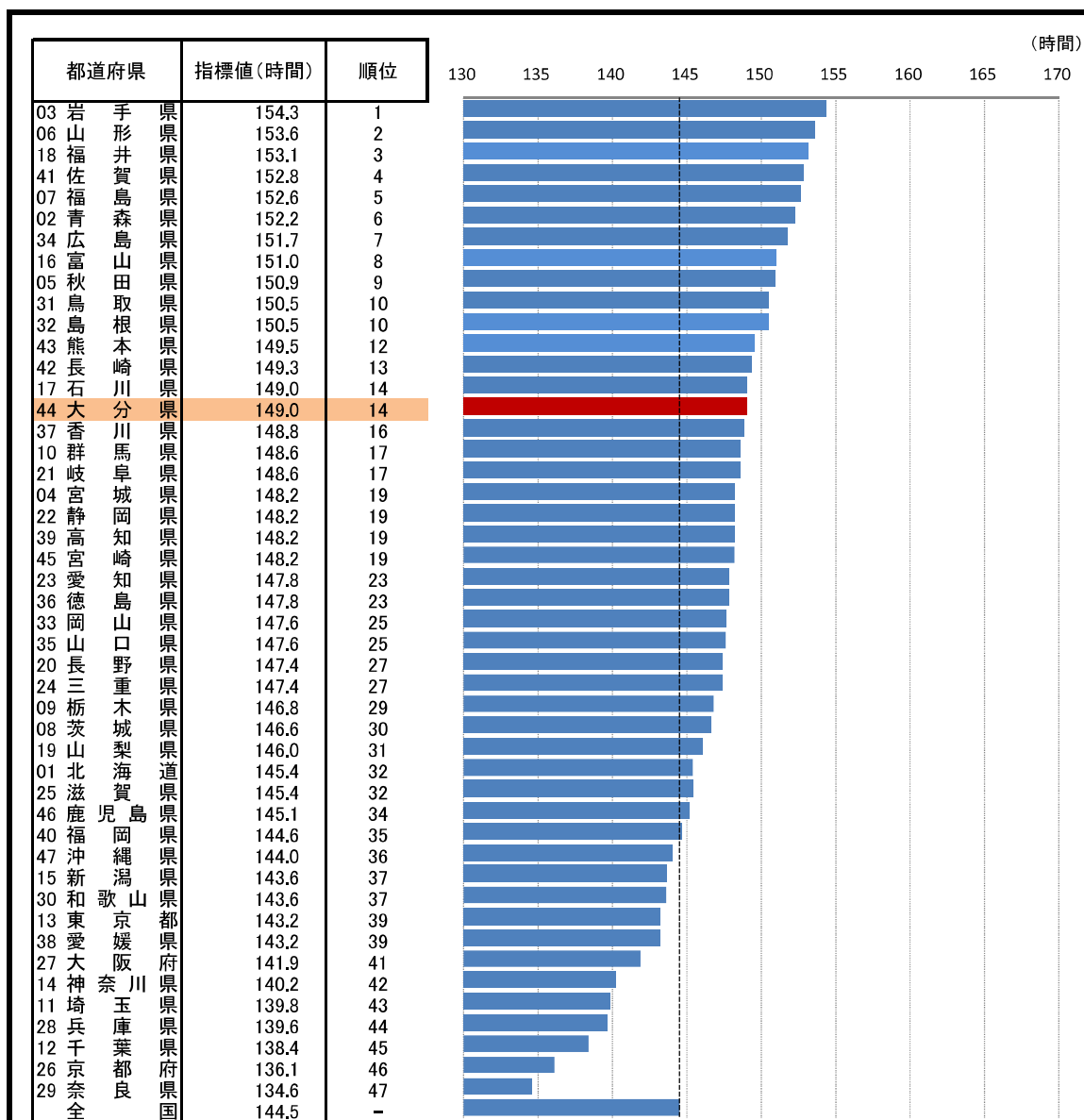
○ 調査周期: 毎年

○ 完全失業率: 労働力人口(就業者と完全失業者の合計)に占める完全失業者の割合。完全失業者とは現在仕事をしておらず、仕事があればすぐにつくことができ、仕事を探す活動をしていた人をいう。

* 順位は数値の大きい方からつけています。

44. 月平均総実労働時間数(労働者1人あたり)

—令和元年—



○ 概要
大分県の令和元年の月平均総実労働時間数(労働者1人あたり)は149.0時間で、前年から4.5時間減少し、全国14位となっている。

○ 基礎データ(令和元年) (時間)

	大分県	全国
月平均総実労働時間数(労働者1人あたり)	149.0	144.5

○ 参考指標(令和元年)

月平均所定外労働時間	11 時間(34位)
------------	------------

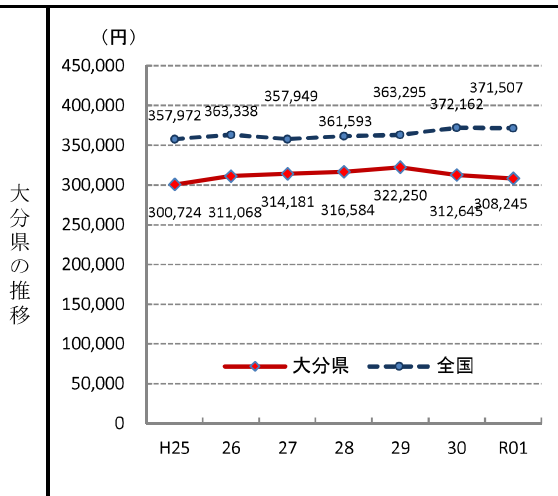
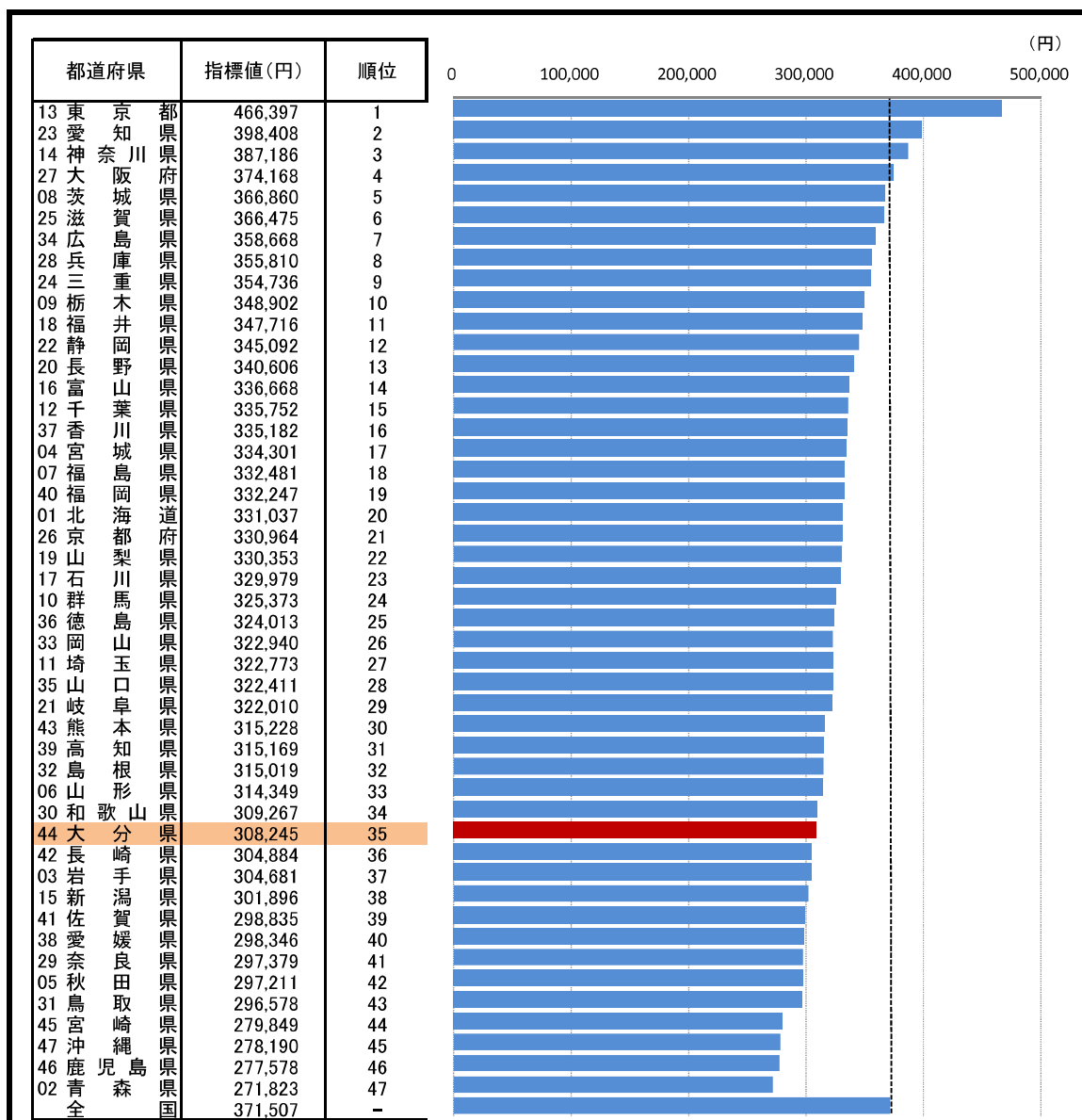
○ 資料出所:厚生労働省「毎月勤労統計調査(地方調査)」
○ 調査期日:令和元年
○ 調査周期:毎年
○ 総実労働時間数:所定内労働時間(事業所就業規則で定められた始業時刻と終業時刻との間の休憩時間を除いた実労働時間)と所定外労働時間(早出、残業、休日出勤等により行った実労働時間)との合計。

注) 事業所規模30人以上についての集計である。

* 順位は数値の大きい方からつけています。

45. 月平均現金給与総額(労働者1人あたり)

—令和元年—



参考

○ 概要
大分県の令和元年の月平均現金給与総額(労働者1人あたり)は308,245円で、前年から4,400円減少し、全国35位となっている。

○ 基礎データ (令和元年)

	大分県	全国
月平均現金給与総額(労働者1人あたり)	308,245	371,507

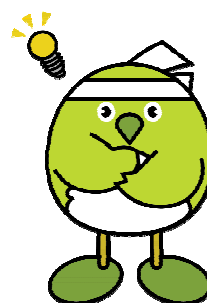
摘要

○ 資料出所:厚生労働省「毎月勤労統計調査(地方調査)」
 ○ 調査期日:令和元年
 ○ 調査周期:毎年
 ○ 月平均現金給与総額:基本給、残業代、賞与などを合わせた1人当たりの現金給与総額の月平均。

注) 事業所規模30人以上についての集計である。

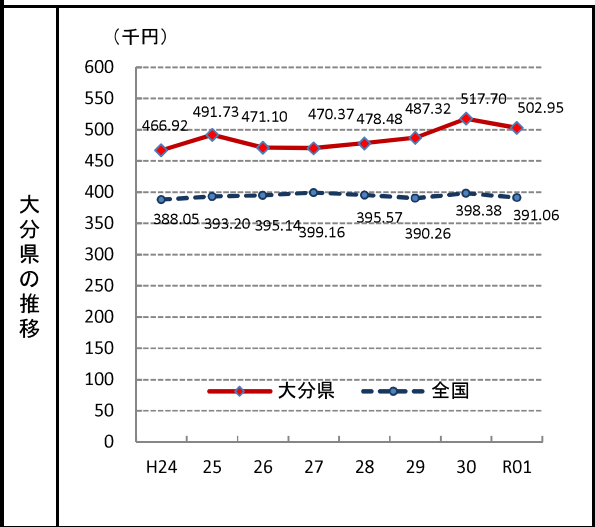
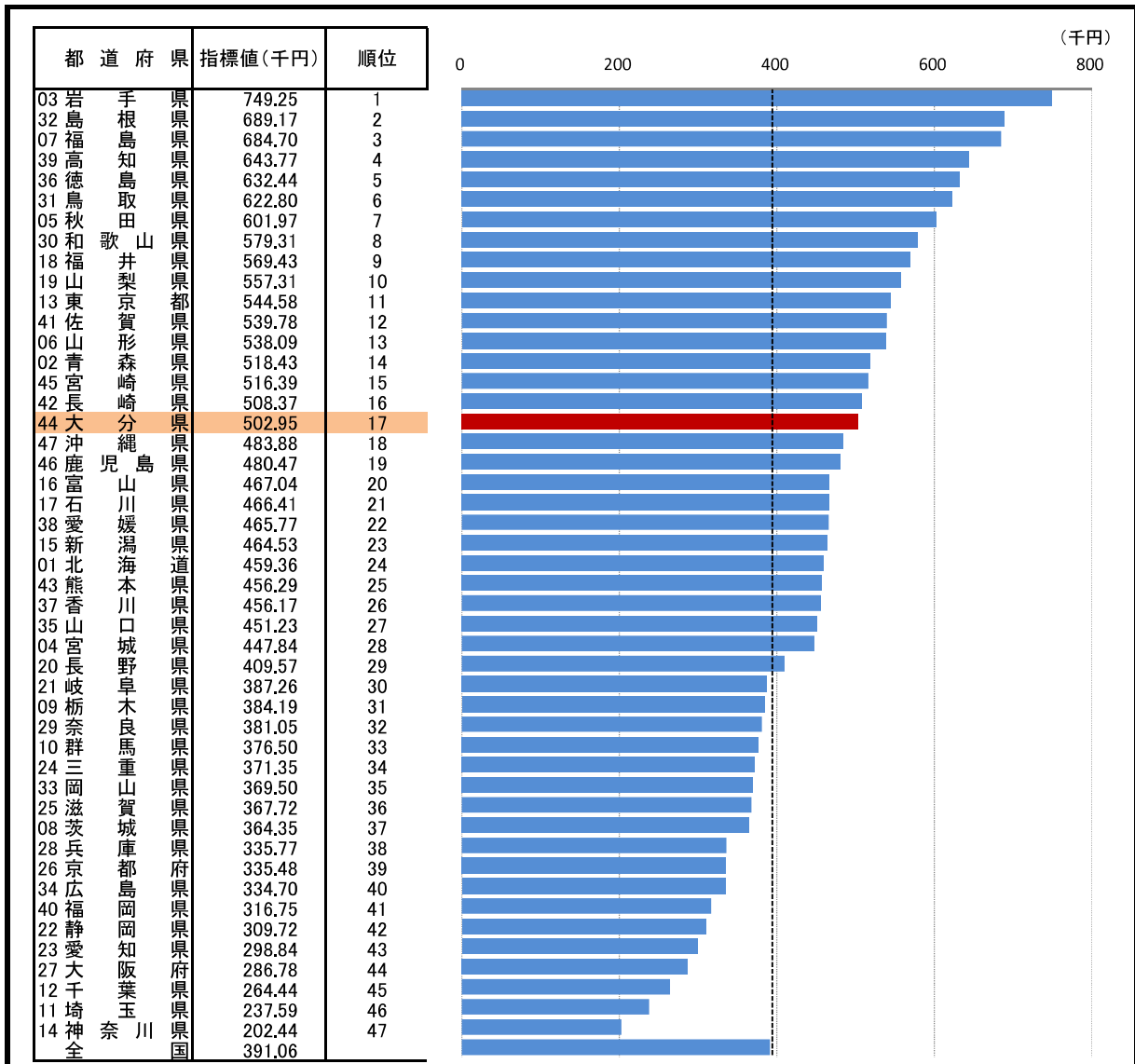
* 順位は数値の大きい方からつけています。

6 財政



46. 歳出決算総額(人口1人あたり)

— 令和元年度 —



参 考

- 概 要
大分県の令和元年度の歳出決算総額(人口1人あたり)は502.95千円で、前年度から14.75千円減少し、全国17位となっている。
- 基礎データ(令和元年度) (千円)

	大分県	全国
歳出決算総額	570,848,815	49,339,047,183

- 参考指標(令和元年度)

歳入決算総額(人口1人あたり)	521.62 千円(16位)
-----------------	----------------

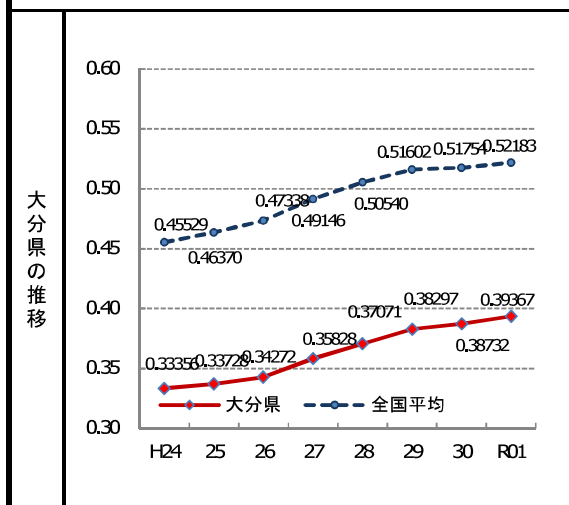
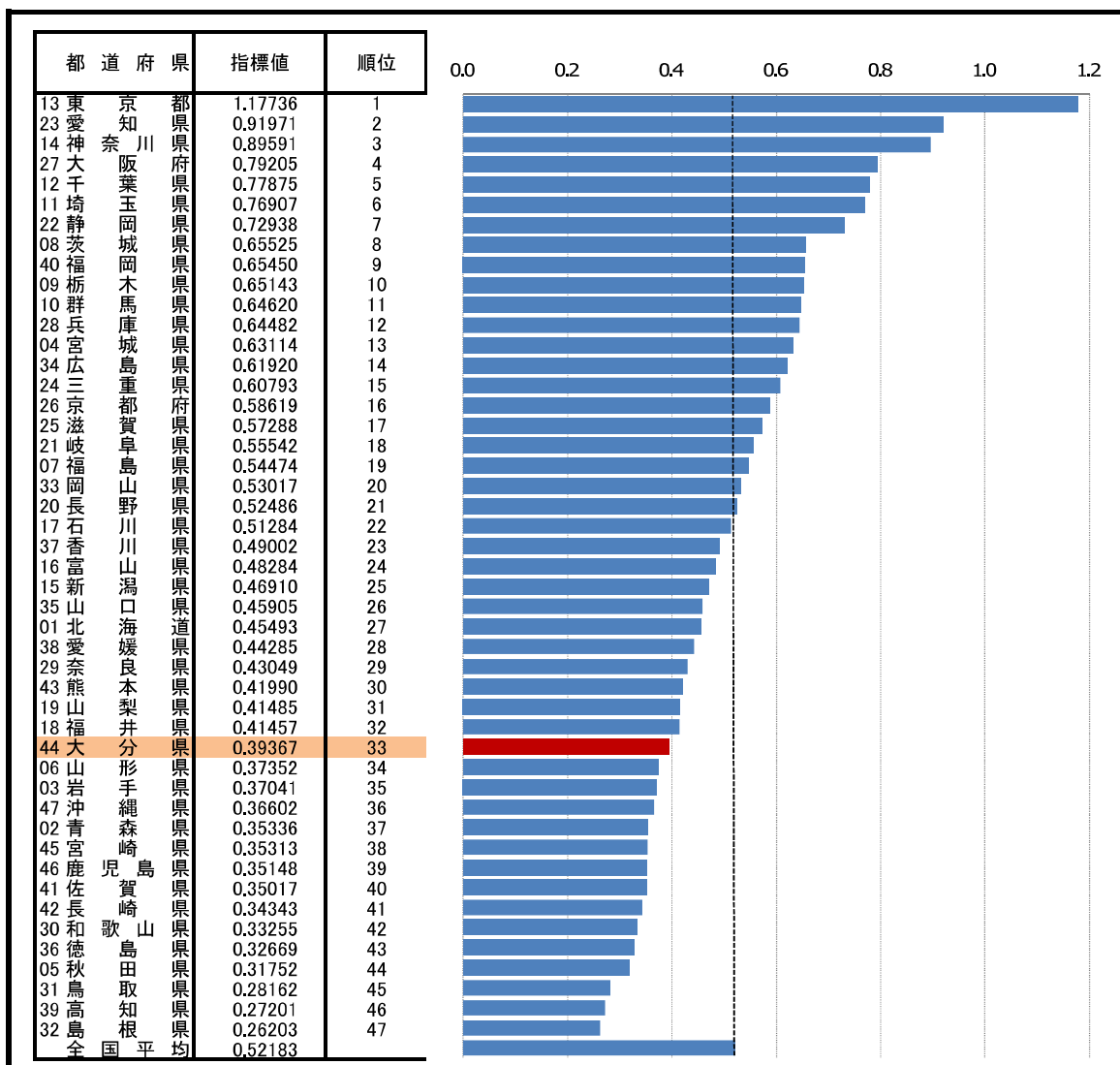
摘 要

- 資料出所: 総務省「都道府県決算状況調」
- 調査期日: 令和元年度
- 調査周期: 毎年度
- 歳出決算総額: 年度中の支出の総額
- 歳入決算総額: 年度中の収入の総額

* 順位は数値の大きい方からつけています。

47. 財政力指数

— 令和元年度 —



参考

○ 概要
大分県の令和元年度の財政力指数は0.39367で、前年度から0.00635増加し、全国33位となっている。

○ 基礎データ(令和元年度)

	大分県	全国平均
財政力指数	0.39367	0.52183

○ 参考指標(令和元年度)

地方債現在高割合	179.9 % (36位)
実質公債費比率	8.8 % (39位)
将来負担比率	174.8 % (30位)

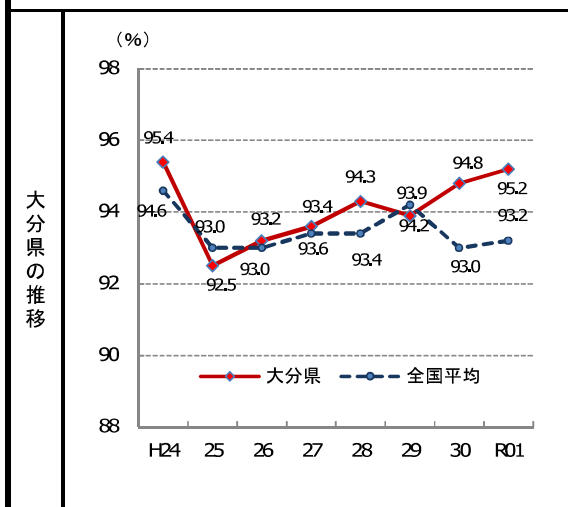
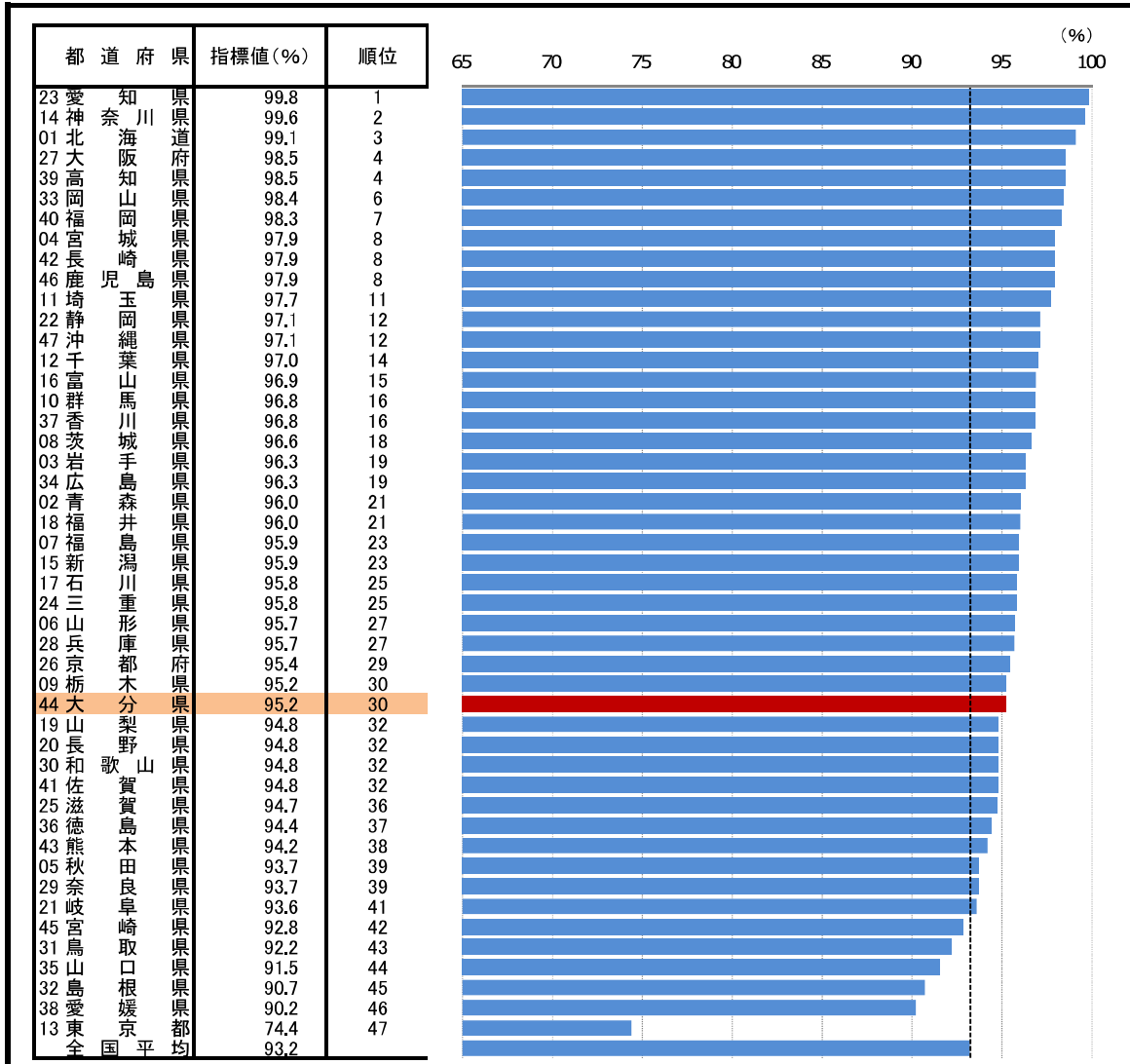
摘要

○ 資料出所: 総務省「都道府県決算状況調」
 ○ 調査期日: 令和元年度 ○ 調査周期: 毎年度
 ○ 財政力指数: 地方公共団体の財政力を示す指標で、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年の平均値。指数が高いほど自主財源の割合が高く、財政力が
 ○ 地方債現在高割合: 将来、償還すべき地方債現在高の標準財政規模に対する割合。
 ○ 将来負担比率: 自治体が将来支払う可能性がある負債の一般会計に対する比率。

* 順位は数値の大きい方からつけています。

48. 経常収支比率

—令和元年度—



参考

○ 概要
大分県の令和元年度の経常収支比率は95.2%で、前年度から0.4ポイント増加し、全国30位となっている。

○ 基礎データ(令和元年度) (%)

	大分県	全国平均
経常収支比率	95.2	93.2

摘要

○ 資料出所:総務省「都道府県決算状況調」

○ 調査期日:令和元年度

○ 調査周期:毎年度

○ 経常収支比率:自治体が自由に使えるお金のうち、人件費、生活保護費、借金の返済に充てる公債費など、避けられない必要経費が占める割合。値が低いほど独自の政策のために使えるお金が多いことを示す。財政の弾力性を測る指標である。

* 順位は数値の大きい方からつけています。